

県立長野図書館概要

令和7年（2025年）4月



県立長野図書館

目次

I 令和7年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～	1
2 取組方針等	2
3 主要事業計画	3
4 組織及び事務分掌	5
5 予算	6

II 令和6年度事業実績

1 事業概要	8
2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況	9
3 調査相談の状況	13
4 市町村立図書館等との協働、支援	15
5 フォーラム・研修会の開催	18
6 信州・学び創造ラボ	21
7 電子書籍サービス	23
8 読書バリアフリーサービス	24
9 令和6年度主要事業実施状況【概要版】	25

III 統計資料（令和6年度実績）

1 利用状況	33
2 図書館資料の状況	39

IV 県立長野図書館協議会

41

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況	42
2 県立長野図書館の沿革	43
3 施設概要	45
4 利用案内	46

I 令和7年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～

2021年7月16日

県立長野図書館

使 命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、
信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、
個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的な普遍的な価値を支えるため、
人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

展 望 (Vision)

- ① 「知る」…情報の改革：いつでもどこからでも、時間と空間を越えて、すべての人々が等しく情報入手し、活用し、成果を発信できるよう、人生を豊かにする創造的な学びの情報基盤を整え、情報格差を解消し、次世代へと継承していきます。
- ② 「出会う」…場の革新：考え、対話し、体験することを通じて獲得できる「実感ある知」の循環を生み出し、新しい価値を創り出すために、実空間と情報空間が融合する、開かれた場を形成します。
- ③ 「育む」…人の変革：いかなる社会変化にあっても、「知る自由」「学ぶ自由」を保障する図書館の本質的機能を、技術革新を取り入れながら最適化し、最大限活用できる人づくりに貢献します。

行動指針 (Value)

- ① 協働します：（Collaboration コラボレーション）
県内外の図書館や各種の文化施設・社会教育施設を始め、広く教育・学术界、産業界や社会的活動を行う人々と力を合わせます。
- ② 接続します：（Connecting コネクティング）
さまざまなコミュニティや人々が信州の自然や社会の営みの中で日々生み出す、「現場にある知」、「暮らしの中の知」を、つなぎ合わせます。
- ③ 強みを生かします：（Competency コンピテンシー）
図書館の普遍的な役割である資料・情報の収集・保存・発信・活用について、専門的な知識・スキル・マインドを持つ職員を育成し、強みを生かして社会に貢献します。
- ④ 挑戦します：（Challenge チャレンジ）
市町村や公共図書館等の取組を下支えし、展開するとともに、自ら先進的なサービスを実験・実践することを通じて、人々と共に成長し、変化に強い図書館づくりに挑戦しつづけます。

2 令和 7 年度取組方針

県立長野図書館の「ミッション・ビジョン」に則り、県が策定した各種計画をふまえながら館を運営し、事業を展開する。

令和 5（2023）年度～9（2027）年度の主要計画で明記された「信州ナレッジスクエア」、「電子図書館（電子書籍）サービス」を活用しつつ、令和 7（2025）年度からの第 5 次長野県子ども読書活動推進計画を推進するため、関連機関との連携によって、資料・情報の充実、空間の提供、人材育成を展開する。

◆県における各種計画

- 「**長野県総合 5 か年計画**」しあわせ信州創造プラン 3.0
～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～
令和 5（2023）年度～
 - ・ デジタル実装による地方の課題解決
 - ・ 歴史や文化芸術に興味関心をもつタッチポイントの充実
 - ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境の創出
- 「**第 4 次長野県教育振興基本計画**」
個人と社会のウェルビーイングの実現
令和 5（2023）年度～
～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～
 - ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり
- 「**第 2 次長野県文化芸術振興計画**」
～文化芸術の 価値を高め、支える、ひろげる、つなげる、信州のゆたかな未来～
令和 5（2023）年度～
 - ・ 多様な分野における文化芸術の活用
 - ・ 地域の文化芸術の推進力の強化
 - ・ 地域の伝統文化の保存・活用
- 「**第 5 次長野県子ども読書活動推進計画**」
～「読むこと」、「知ること」の楽しさを全ての子どもたちに～
令和 7（2025）年度～
 - ・ 主体となる様々な関係者・団体等が連携・協力し取組を展開していくための
枠組みとなる横断的・有機的なネットワークの構築

※ この他、「子ども・若者支援総合計画」、「自殺対策推進計画」、「過疎地域持続的発展計画」等にも位置付けられている。

各種計画をふまえた事業展開

◆令和 7 年度県立長野図書館取組方針

1. 資料・情報

いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信できる情報基盤を安定運用し、紙とデジタルの特徴を生かした蔵書構築を進めます。

2. 空間・場

実空間である図書館の 1 ～ 2 階のフロア、3 階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、日常的に知的活動が展開・循環する「場」を創出します。

3. 人材育成

潜在的な利用者を含め、全ての県民の学び合いや読書を始めとする知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関のほか、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。

4. 長野県 eLibrary 計画

図書館のさまざまな機能・サービスについて、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進めます。特に「信州ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスによる学校との連携、地域資料のデジタル化・発信、読書バリアフリーを重点的に進めます。

3 令和7年度主要事業計画

※は新規事業

(1) 資料・情報

- ア 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料（郷土資料）を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」とを戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担をし、蔵書構築を進める。
 - イ 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身につけることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に事例を登録することで、調べ方を発信していく。
 - ウ 情報アクセス環境の地域間格差是正を図るため、相互貸借送料支援およびインターネット貸出を実施する。
 - エ 収集した資料を県民が利用し、さらなる資料を「創造」していく支援を行う。
 - オ 読書バリアフリーに資するサービスについて、分かりやすい広報を行う。
- ※カ 「旅する本箱」プロジェクトを通じて県内の様々な主体と協働し、新たな読書環境を創出する。
- ※キ 戦後80周年を機に、所蔵資料を活用した企画展を実施する。

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

- ア 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」においては、人と人がつながり合い、新たな社会的価値が創造されていくモデル空間を目指し、これからの公共空間のあり方を考え、また信州の新たな学びの姿を試し、体感できる場としての運営を進める。
 - イ 学びの成果をアウトプットし、試行錯誤ができる場所として「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな創造の仕組みを拡げていく。
 - ウ 実空間と情報空間を融合させ、ICTを活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。
 - エ 各フロアのコンセプト（1階児童図書室「体験・発見・やってみ?!」・2階一般図書室「情報の地図・世界の再発見」）に沿った新しい発見・学びのプログラムを展開する。
- ※オ ボードゲーム等を用いた「体験の貸出」を、市町村や学校の図書館に展開する方策について検討を進める。
- ※カ エントランス、中二階壁面、階段壁面を温もりのある空間にするため県産材を使った木質化工事を実施する。また、「長野県ゼロカーボン戦略」に基づき、CO²排出量の削減に向けて図書館照明のLED化を行う。

(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

- ア 司書としての役割を果たす人材育成の機会として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。
- イ 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域における活動を後押しする。
- ウ 広く社会教育に関わる分野や全国の取組みを俯瞰したテーマ設定のもと、県民の学びを創発する機会として「信州発・これからの図書館フォーラム」等を開催する。
- エ 信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげることを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。

(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

ア 図書館機能の高度化の方策として、県内各種機関所蔵情報のデジタル化・公開支援、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化と、これらを融合し活用する学びを推進する。

イ 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、地域資料（郷土資料）を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」の拡充を図るとともに、県民の学びの成果や暮らしの記録を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。

ウ 市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」によって、読書バリアフリー、学校と連携した活用、地域資料（郷土資料）の電子化・公開を進める。

※エ 図書館業務システム等の更新

防災や防犯、OS のサポート終了、システム変更に伴うリンク切れ等への対応を図るため、当館の基幹業務システム及び地域情報資源ポータルサイト「信州ナレッジスクエア」、図書館ホームページの更新を行う。

4 組織及び事務分掌

(1) 職員の現員調（令和7年4月1日現在）

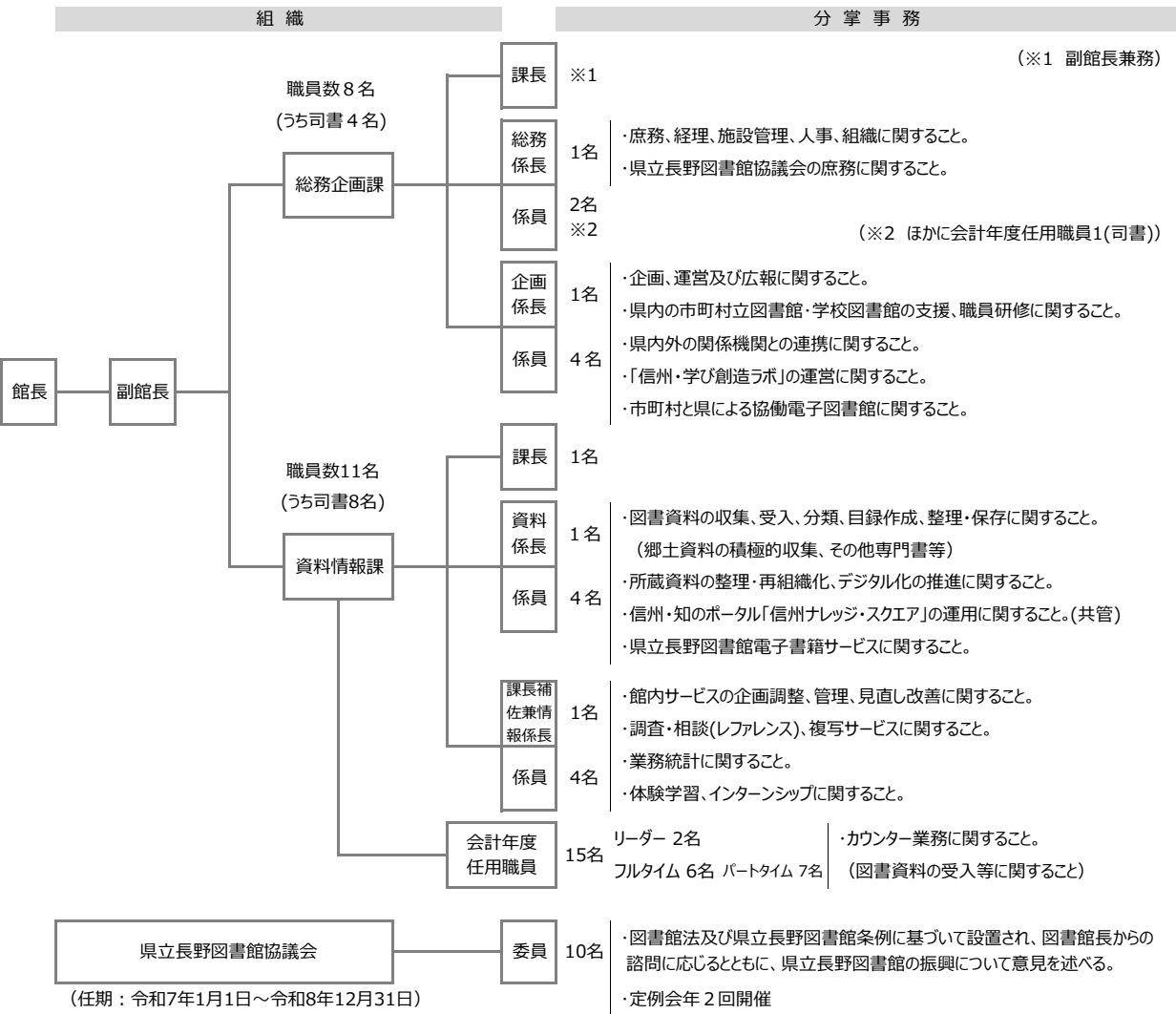
区分	常勤職員											会計 年度 ※	総数	摘 要	
	館長	副館長	課長	補佐	係長	専門幹	主幹	主査	主任	主事	計				
員 数	1	1	1	1	3	0	0	3	4	7	21	16	37	主任4のうち1名（司書）は、市町村研修派遣職員	
うち司書有資格	1	0	0	1	2	0	0	2	1	6	13	16	29	主事7のうち任期付2(司書2)、臨任1 ※会計年度任用職員 フル8・パート8	

(2) 職員数の推移（過去15年間）

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
常勤職員	員 数	22	24	24	24	23	23	21	20	21	21	20	21	21	22	22	21
	うち司書有資格	10	11	10	10	9	9	9	9	9	9	12	13	13	13	15	13
非常勤 ※	員 数	12	12	12	12	12	12	14	14	13	15	18	16	16	16	16	16
	うち司書有資格	10	12	11	11	11	12	14	14	13	14	17	15	15	15	16	16
計	総 数	34	36	36	36	35	35	35	34	34	36	38	37	37	38	38	37
	うち司書有資格	20	23	21	21	20	21	23	23	22	23	29	28	28	28	31	29

増減	単年度	常勤職員	0	2	0	0	-1	0	-2	-1	1	0	-1	1	0	1	0	-1
		うち司書有資格	0	1	-1	0	-1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	-2
		非常勤職員※	0	0	0	0	0	0	2	0	-1	2	3	-2	0	0	0	0
		うち司書有資格	0	2	-1	0	0	1	2	0	-1	1	3	-2	0	0	1	0
		総 数	0	2	0	0	-1	0	0	-1	0	2	2	-1	0	1	0	-1
	累積 (H22比)	うち司書有資格	0	3	-2	0	-1	1	2	0	-1	1	6	-1	0	0	3	-2
		常勤職員	0	2	2	2	1	1	-1	-2	-1	-1	-2	-1	-1	0	0	-1
		うち司書有資格	0	1	0	0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	2	3	3	3	5	3
		非常勤職員※	0	0	0	0	0	0	2	2	1	3	6	4	4	4	4	4
		うち司書有資格	0	2	1	1	1	2	4	4	3	4	7	5	5	6	6	6
		総 数	0	2	2	2	1	1	1	0	0	2	4	3	3	4	4	3
		うち司書有資格	0	3	1	1	0	1	3	3	2	3	9	8	8	8	11	9

(3) 組織及び事務分掌（令和7年4月1日現在）



5 予算

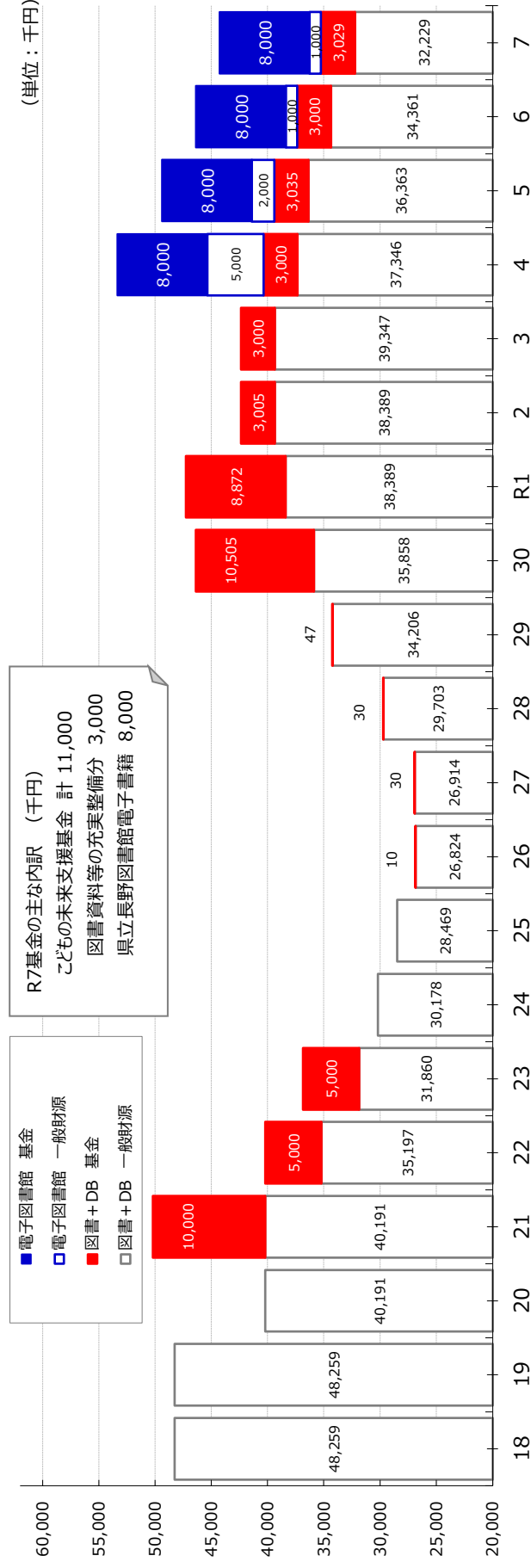
(1) 令和7年度図書館予算

(単位：千円)

区 分	項 目		令和7年度	令和6年度	増 減
管 理 運営費	人件費 (会計年度任用職員（司書）)		61,499	54,372	7,127
	庁舎管理委託		19,123	18,095	1,028
	光熱水費等		25,505	25,675	△170
	管理運営費計 ①		106,127	98,142	7,985
コンピューター 管理費	システム/コンピューター借上等 ②		39,262	26,203	13,059
図 書 館 事 業 費	図 書 館 資 料 の 充 実	一般図書	25,037	27,665	△2,628
		児童図書（学校支援を含む）	2,000	2,000	0
		新聞雑誌等	4,500	4,100	400
		データベース	3,721	3,596	125
		電子図書館コンテンツ使用料	9,000	9,000	0
		図書館資料費計	44,258	46,361	△2,103
	貸出図書郵送料		2,600	2,600	0
	フォーラム・研修会費		834	1,006	△172
	業務用機器借上等		3,222	3,222	0
	「信州・学び創造ラボ」整備・運用		4,964	5,273	△309
	電子図書館プラットフォーム使用料		2,376	2,376	0
	所蔵資料デジタル化委託費		900	900	0
	その他		900	846	54
	図書館事業費計 ③		60,054	62,584	△2,530
積 立 金	基金積立金 ④		1	1	0
合 計（①＋②＋③＋④）			205,444	186,930	18,514

	令和7年度	令和6年度	増減
市町村負担金 ⑤	8,000	8,000	0
総合計 (合計+⑤)	213,444	194,930	18,514

(2) 図書購入費(予算額)の推移



	年度																	(単位：千円、%)				
図書 + DB	一般財源	48,259	48,259	40,191	40,191	35,197	31,860	30,178	28,469	26,824	26,914	29,703	34,206	35,858	38,389	39,342	39,347	37,346	36,363	34,361	32,229	
	基金	コ－ラル（青年の船）			10,000	5,000																
		図書館充実									10	30	30	47	5	5	5					
		こども未来（企業局）													10,000	3,037	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		栗本基金														5,830						
		ふるさと信州寄付金													500						35	29
	基金計	0	0	0	10,000	5,000	5,000	0	0	10	30	30	47	10,505	8,872	3,005	3,000	3,000	3,035	3,000	3,029	
	小計	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	47,261	42,347	42,347	40,346	39,398	37,361	35,258	
電子	一般財源																	5,000	2,000	1,000	1,000	
図書館 (※)	基金																	8,000	8,000	8,000	8,000	
	小計																	13,000	10,000	9,000	9,000	
	合 計	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	47,261	42,347	42,347	53,346	49,398	46,361	44,258	
	前年増減額	△6,741	0	△8,068	10,000	△9,994	△3,337	△6,682	△1,709	△1,635	110	2,789	4,520	12,110	898	△4,914	0	10,999	△3,948	△3,037	△2,103	
	(%)	△12.3	0.0	△16.7	24.9	△19.9	△8.3	△18.1	△5.7	△5.7	0.4	10.4	15.2	35.4	1.9	△10.4	0.0	26.0	△7.4	△6.1	△4.5	

※電子図書館の令和7年度は、一般財源・基金とも当館の電子書籍サービス（Kinoden）のコンテンツに配当予定。（市町村と県による協働電子図書館負担分はなし。）

Ⅱ 令和6年度事業実績

1 事業概要

(1) 利用状況

開館日数 入館者数 (日平均)	計 280日 305,941人 (1,093)	平日 180日 180,172人 (1,001)	土・日曜日 90日 111,369人 (1,237)	祝日 10日 14,400人 (1,440)
資料の個人貸出	計 88,797冊	一般図書 42,515冊	児童図書 46,282冊	
相互貸借	計 3,242冊	貸出 2,896冊	借受 346冊	
調査相談 (レファレンス)	計 6,012件	口頭 3,222件	電話 2,288件	メール他 502件
登録者	累計登録者数 106,089人	新規登録者数 2,713人		

(2) 図書資料等の状況

ア 所蔵資料

図書	計 784,435冊	一般図書 568,969冊	児童図書 101,037冊	郷土図書 114,429冊
フィルム等	マイクロフィルム 10,283リール	16ミリ映画フィルム 2,260本	ビデオ・DVD 3,214本	

※一般図書、児童図書は、外国語資料を含めた冊数。

イ 図書資料の購入等

	計	一般図書	児童図書	郷土図書
購入	8,205冊	5,876冊	1,200冊	1,129冊
寄贈等	3,888冊	1,196冊	72冊	2,620冊
除籍	613冊	576冊	29冊	8冊
増加数	11,480冊	6,496冊	1,243冊	3,741冊

ウ データベース

12種の専門的なデータベース等を提供

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ①信濃毎日新聞社「信濃毎日新聞データベース」 | ⑦農山漁村文化協会「ルーラル電子図書館」 |
| ②朝日新聞社「朝日新聞クロスサーチ」 | ⑧ネットアドバンス「ジャパンナレッジLib」 |
| ③日本経済新聞社「日経テレコン」 | ⑨ジー・サーチ「JDreamⅢ」 |
| ④第一法規「D1-Law法情報総合データベース」 | ⑩読売新聞社「ヨミダス」 |
| ⑤国立印刷局「官報情報検索サービス」 | ⑪毎日新聞社「毎索」 |
| ⑥国立国会図書館デジタルコレクション | ⑫中日新聞社「中日新聞・東京新聞記事データベース」 |

2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況

(1) 企画・展示

内容	実施期間・場所	概要
夏休み特別企画 「ナツとしよ2024」 図書館バックヤードツアー	8月3、7、9日 書庫・整理室 午後1回開催	玄関ロビーに集合し、図書館職員の案内で普段は立ち入ることのできない書庫見学を実施。
謎解きゲーム 図書館探検大作戦	8月6、8日 1階児童図書室 午後1回開催	スタンプラリー形式の、手と足と頭を使って図書館内の機能と資料を探検するゲームを実施。
「情報をうみだす」POP展示	6.7月 1階児童図書室 2階一般図書室	職場体験学習の一環として学生が選書した本の紹介。 テーマを決め選んだ本をもとにPOPを作成。 より多くの本を手にとってもらうための手段として、いかに情報を伝えられるかを考えた展示。
追悼コーナー	4月～3月 1階児童図書室 2階一般図書室	「さとうわきこさん(R6.4月2日～4月25日)」 「宗田理さん(R6.4月8日～4月25日)」 「矢玉四郎さん(R6.8月24日～9月8日)」 「中川李枝子さん(R6.10月18日～31日)」 「せなけいこさん(R6.10月29日～11月15日)」 「谷川俊太郎さん(R6.11月20日～12月15日)」 「いわむらかずおさん(R7.1月23日～2月14日)」 「和田登さん(R7.2月13日～3月15日)NHKテレビのニュースでも紹介」
ひな壇展示	2月～3月 1階児童図書室 2階一般図書室 3階信州学び創造ラボ	R7.2月18日～3月27日 人形やひな祭りの歴史など、関係する資料の紹介や、長野県各市町村の関連イベントも随時紹介。 ひな人形にちなんだ折り紙を楽しめる、体験型コーナーも設置。
岩波文庫コレクション	通年 2階ナレッジラボ	岩波書店創業者である岩波茂雄が長野県出身であることから、個人の方が収集した岩波文庫コレクション約8,000冊を令和元年度に寄贈いただいたため常設展示。
信州情報探索ゾーン	通年 3階信州学び・創造ラボ	110年にわたる信州の知の営みを感じられるように、県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書や、戦時中に検閲処分を受けた資料等を展示。

(2) 児童図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
ブックスプラウト	「わたし」コーディネート	3月～6月
	1期「子どもだったころ」(記憶を比べる)	7月～10月
	2期「過去発ー今ココーミライ行き」(今を乗りきる)	11月～2月
	3期「さあ行こう！」(未来はどうなる？どうしたい？)	3月～
児童展示	「さあ、いこう」【こどものとも復刻版】	4月～5月
	「雨があがったら」	6月
	「星座」【星、月、七夕など】	7月
	「おまつり」	8月
	「大好きな家族」	9月
	「からだを動かそう」	10月
	「おしごと」	11月
	「クリスマス」	12月
	「お正月・昔遊び」【へびの抜け殻展示】	1月
	「あま〜い♡」	2月
	「はじまる」	3月～
ふるさと	「冬のスポーツ、何してる？」【利用者参加型アンケート実施】	12月～2月17日
	「ひな祭り」【全階展示】	2月18日～3月27日
	読書感想文コンクール	7月～8月
	自由研究	7月～8月

(3) 一般図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
信州の暮らしの記憶を記録する記	「文学の中の信州」	1月～7月
	「"き"になる信州」(前半)	8月～1月
	「"き"になる信州」(後半)	2月～7月
はまなく・	「ワークサイクル」(就活・起業・闘病・セカンドライフ)	8月～
	「信州【棲まう】」	9月～2月
自然とからだ	「介護コーナー」／「がんコーナー」	R3.10月～R6.12月
	「長野県科学振興会パネル展示」	1月～

(4) ブック・スプラウト

ゾーン	内 容	実施期間
信州の暮らしの 記憶を記録する	「するしない？（行）」	7月～10月
	「するしない？（食）」	11月～2月
	「するしない？（観）」	3月～
私たちはどこからき たか	「どこかで見たことあるような…？」	7月～10月
	「見たことないけど、そこにある…？」	11月～2月
	「“あった”けどなかった…!？」	3月～
はたらく・まなぶ	「今を生き抜く！」	7月～10月
	「相反するものの共存」	11月～2月
	「つなぐ」	3月～
自然とからだ	「分数で考えてみよう」	7月～10月
	「みんなの感じる世界」	11月～2月
	「1610年、冬のガリレオ」	3月～
音・ことば・身体	「この強烈な世界」	7月～10月
	「あなただけの答えを探して」	11月～2月
	「模倣と創造の関係」	3月～

(5) 信州・学び創造ラボ展示

内 容	実施期間
こどものモール関連資料展示 見てたのしい工作の本	7月11日～17日
現役保育士との意見交換会関連資料展示	7月23日～30日
大学生等奨学金奨学生意見交換会関連資料展示	8月18日～2月28日
ヒューマンライブラリー関連資料展示	9月26日～1月16日
コミュニティスクールコーディネーター研修会関連資料展示	10月5日～2月28日
長野県立歴史館開館30周年記念「描かれた川中島合戦」展関連資料展示	11月3日～30日
モノコトフェス関連資料展示	12月6日 一部資料はモノコトベースに常設展示
ゼロカーボンミーティング関連展示	1月19日～2月28日
信州横断講座関連展示	1月31日～2月28日
アーツカウンシルパレード関連展示	2月4日～13日
図書館フォーラム「読書の未来」関連展示	3月4日～

(6) 視察・見学等

期 日	人数	相手先	目 的
5月9日	6	栃木県議会視察	図書館視察
5月14日	7	群馬県教育長ほか視察	図書館視察
5月28日	1	関東学院大学 千教授 図書館視察	図書館視察
6月6日	6	野村総研（文部科学省事業受託者）ヒアリング	調査・見学
6月6日	11	山梨県総務部長	図書館視察
6月12日	55	白馬高等学校図書館学習	探究学習
6月13日	25	清泉女学院大学/司書課程 館内見学	図書館見学
7月4日	7	長野県議会 新政策議員団	図書館視察
7月17日	2	図書館振興財団「図書館探訪記」取材	取材
7月19日	2	アーツカウンシル東京 佐々木秀彦氏視察	図書館視察
7月24日	3	埼玉県議会視察	図書館視察
7月31日	19	栃木県議会議員視察	図書館視察
7月31日	12	宮崎県議会文教警察企業常任委員会視察	図書館視察
8月6日	3	宮崎県教育委員会視察	図書館視察
8月14日	1	恵那市立図書館コーディネータ・猿島氏視察	図書館視察
8月30日	23	1都9県教育委員会教育委員協議会	図書館視察
9月19日	11	松本大学松商短期大学部/司書課程館内見学	図書館見学
9月24日	1	Coopながの広報誌	取材
9月25日	5	長野西高等学校 探究学習	探究学習
9月28日	1	水戸市立中央図書館視察	図書館視察
10月2日	1	雑誌『ガバナンス』取材	取材
10月31日	19	韓国江原特別自治道教育庁視察	図書館視察
11月5日	18	佐久市立図書館（協議会委員・職員）視察	図書館視察
11月19日	5	長野高等学校探究学習来館	探究学習
11月27日	6	長野県議会共産党議員団視察	図書館視察
11月29日	1	滋賀県愛荘町三浦図書館長来館	図書館視察
12月17日	1	長野県立大学学生インタビュー	図書館見学
1月9日	3	三重県視察	図書館視察
1月29日	3	奈良県立図書情報館視察	図書館視察
2月11日	2	須坂高等学校探究学習打合せ（生徒は後日各自来館）	探究学習
合 計	260 人	※「目的」列が「図書館視察」のものは、「6 信州・学び創造ラボ」の視察件数（p23）に該当	

(7) ア 職場体験学習等受入

期 日	人数	相手先	目 的
7月4.5日	2	豊野中学校	職場体験学習
7月11日	3	犀陵中学校	職場体験学習
7月18日	2	篠ノ井西中学校	職場体験学習
10月16-18日	1	長野商業高校	職場体験学習
10月24日	4	更北中学校、中条中学校	職場体験学習
合 計	12 人		

イ 大学生インターンシップ

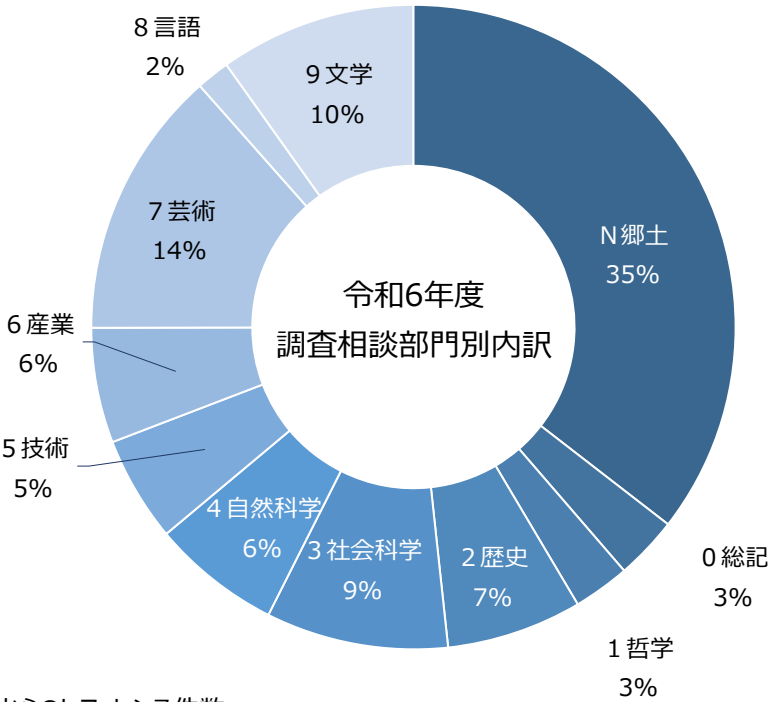
期 日	人数	相手先	目 的
8月28日	4	県庁インターンシップ	職場体験
8月29日～	1	筑波大学	図書館実習
9月11日	1	青山学院大学	図書館実習
合 計	6 人		

3 調査相談の状況

(1)調査相談の内訳 (単位：件)

項目		令和6年度					令和5年度				
		口頭	電話	メール	F A X 文書	小計	口頭	電話	メール	F A X 文書	小計
部 門 別 内 訳	N郷土	319	63	238	32	652	515	111	220	37	883
	0 総記	37	7	4	10	58	54	9	0	37	100
	1 哲学	42	8	2	0	52	64	13	4	0	81
	2 歴史	98	20	4	3	125	124	39	5	6	174
	3 社会科学	119	30	17	2	168	141	34	7	0	182
	4 自然科学	109	7	3	0	119	133	13	4	0	150
	5 技術	90	5	2	0	97	91	11	0	0	102
	6 産業	92	12	2	0	106	53	12	0	0	65
	7 芸術	132	13	3	100	248	96	22	5	20	143
	8 言語	22	5	3	1	31	56	12	3	0	71
	9 文学	153	16	8	4	181	199	35	6	0	240
	E絵本	118	4	1	0	123	87	8	0	0	95
新聞・雑誌		60	47	53	10	170	112	64	15	6	197
利用案内		1,831	2,051			3,882	2,111	2,102			4,213
合計		3,222	2,288	340	162	6,012	3,836	2,485	269	106	6,696

※N郷土は、N0類～N9類に関する調査の調査件数を合計したもの。
※部門別内訳の0総記～9文学は、一般と児童に関する調査件数を合計したもの。
※新聞・雑誌は、郷土、一般、児童に関する調査件数を合計したもの。
※円グラフには、新聞・雑誌と絵本の調査件数は含まない。



(2) 図書館・行政機関等からのレファレンス件数

令和6年度	令和5年度
63	62

※(1) 調査相談の内訳表の内数

(3) 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」登録件数・被参照数

(単位：件)

項 目	令和 6 年度		令和 5 年度		累計 (令和 6 年度末)	
	レファレンス事例	調べ方マニュアル	レファレンス事例	調べ方マニュアル	レファレンス事例	調べ方マニュアル
登録件数	236	5	210	5	2,304	35
参照数	3,899,997	42,354	465,239	19,054		

※被参照数は、web 上で一般の利用者や他の図書館に検索して見られた件数

(R6.2 月のサイトリニューアル後、ロボットによるアクセス数が含まれるため、被参照件数が増加している。)

※登録件数は一般公開、参加館限定公開、自館のみ公開の区分で登録した事例の合計件数

当館では、レファレンス事例をインターネットを介して多くの方が利用できるよう、国立国会図書館が提供する「レファレンス協同データベース」への登録を積極的に行っている。

この事業について、登録数が多い参加館、又はアクセスが多い参加館に贈られる礼状を、8 年連続で国立国会図書館長から受領した。

礼状の対象となった項目は次のとおり。(データの公開レベルに応じてポイント化し、基準※を達成)

※基準については「[レファレンス協同データベース](#)」を参照

- ・年間データ登録ポイント：**735** ポイント
- ・調べ方マニュアルの累計データ登録ポイント：**272** ポイント
- ・年間データ被参照件数：**3,453,761** ポイント

(対象期間：令和 6 年 1 月から 12 月まで)

令和 6 年度に寄せられた質問【抜粋】

※文末の () 内数字は「レファレンス協働データベース」での被参照数

郷土に関する質問

- ・[「エプソン」ブランドが誕生したのはいつか。また、ハンドヘルド・コンピュータ HC-20 の発表、発売はいつか。](#) (7,828)
- ・[長野県松本市における理容業の開祖といわれている「根本金次郎」について調べている。当時の筑摩県権令だった「永山盛輝」が応援したらしいが、その事実がわかる資料はあるか。](#) (1,790)
- ・[歌川広重の「善光寺土産」は、信濃国の十景を描いたもののようだが、十枚とも掲載されている資料はあるか。研究論文のようなものもあれば、見たい。](#) (380)

一般に関する質問

- ・[トイレットペーパーの製造方法や、シングル・ダブルなどの構造、歴史などがわかる資料を探している。学校の探究学習で調べており、インターネット上の情報ではなく、本で見たい。](#) (1,072)
- ・[1773 年にアメリカのボストン港で起こった「ボストン茶会事件\(The Boston Tea Party\)」は、なぜ「茶会」と呼ばれるようになったのか。](#) (1,062)
- ・[文部省唱歌「冬景色」の作詞者・作曲者は不詳とあるが、実際はだれが作ったのかを知りたい。](#) (522)

県立長野図書館のレファレンス事例は、ホームページまたは二次元コードからアクセスしてご覧いただけます。



4 市町村立図書館等との協働、支援

(1) 市町村図書館等運営に関する相談

県内の公共図書館・公民館図書室・学校図書館等と連携し、協働体制を整えた。

また、運営上の様々な相談・図書館設置に向けての助言・提案等を行った。

ア 北信公共図書館連絡協議会館長・庶務担当者会議

令和 6 年 6 月 6 日 (千曲市戸倉創造館)

イ 北信公共図書館連絡協議会研修会

令和 6 年 11 月 29 日 (中野市立図書館)

ウ 第 53 回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和 6 年 9 月 13 日 (小谷村役場)

エ 第 54 回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和 7 年 2 月 14 日 (松本市立博物館)

オ 令和 6 年度飯田下伊那図書館協会 (兼長野県図書館協会下伊那支部) 支部会・研修会)

令和 7 年 2 月 26 日 (ムトスぶらざ (丘の上結いスクエア内))

カ 佐久市立図書館建替再整備検討委員会の委員として出席

令和 6 年 10 月 9 日、令和 7 年 2 月 4 日

キ 飯綱町図書館ワークショップへの参加

令和 6 年 6 月 18 日 飯綱町町民会館

※市町村図書館等を対象にした研修事業については「5 フォーラム・研修会の開催」に掲載

(2) Facebook ページを活用した情報発信

「県立長野図書館」..... 信州の「図書館のある暮らし」に関する情報発信

「信州発・これからの図書館フォーラム」..... これからの図書館が進む方向についての提案・情報提供

「山に見える図書館—信州のまち・ひと・としょかん」.. 県内の図書館に関する情報発信

「信州・学び創造ラボ」..... 県民が主体となる“共知・共創”の場としての活用提案と活動報告

「信州ナレッジスクエア」..... 信州の情報を繋ぐポータルサイトに関する情報発信

(3) 図書館業務関連調査実施及び結果の提供状況

名称	調査期間	対象館	
公共図書館概況調査	令和 6 年 4 ～ 6 月	120 館	長野県内公共図書館の概況調査 (結果は HP に公開)

(4) 長野県図書館大会企画運営委員会の事務局運営

ア 企画運営委員会の開催 令和 6 年 6 月 11 日、令和 7 年 3 月 4 日

イ 大会実行委員会と連携して、第 74 回長野県図書館大会を開催..... 参加者は別日開催の分科会を含め計 843 人

日程 令和 6 年 10 月 12 日 (大学専門図書館部会は 10 月 4 日、高校図書館協議会は 11 月 7 日)

会場 須坂市文化会館メセナホール大ホール、須坂市立墨坂中学校

大会テーマ『図書館という希望 ～ 今こそ「読書のよこび」「図書館の存在意義」を語り合おう！』
基調講演「ものがたりの魔法」

(講師 角野栄子氏(児童文学作家))

【分科会】

- ①情報センターとしての図書館
- ②司書の強い味方！～学校図書館実践マニュアル
- ③読書感想文の未来はどうなる！？
- ④ビブリオバトル～教育実践に学ぶ
- ⑤「デジとしよ信州」入門① 学校での活用
- ⑥「デジとしよ信州」入門② 読書バリアフリー
- ⑦視覚障害者サービスの実践から
- ⑧公共図書館野 SNS 広報テクニック
- ⑨「おはなし」で子どもを育てる お話ボランティアができること

(5) 長野県図書館協会との連携・協力

ア 公共図書館部会事務局運営による事業実施

(ア) 幹事会の開催 令和6年4月23日、令和7年3月26日 オンライン

(イ) 公共図書館長会議の開催参加者 44 人(オンライン併用)

令和6年5月31日 駒ヶ根市文化会館

(ウ) これからの公共図書館研究会の開催

○図書館の方向性検討(21 名 3 回)

・除籍ルールの共有、バリアフリーサービスの情報収集について

○学びのプログラム・学校連携(18 名 4 回)

・公共図書館の児童サービスとしての、子どもの学びに資するプログラム事例

○資料活用・レファレンス(31 名 4 回)

・レファレンス技術、ツールの共有と伝達、および資料活用の方策を探る

(エ) 公共図書館長研修の開催.....参加者 35 人(オンライン併用)

令和6年11月22日 県立長野図書館

(オ) 信州横断「昭和・現代史」講座 第2期

令和6年6月29日 安曇野市中央図書館ほか全8回 (472 人参加)

イ ステップアップ(専門)研修への参加・協力

テーマ「地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために」

令和7年1月23日 県立長野図書館.....参加者 18 人

令和7年1月25日 南箕輪村図書館.....参加者 11 人

(6) その他機関との連携・協力

ア 信州大学附属図書館との連携・協力

平成27年8月に締結した連携覚書に基づき、相互に講演会等のオンライン受信を実施

イ 株式会社カーリルとの連携・協力

新たな図書館サービスの構築に向けての調査研究等を推進するための協定を平成30年10月に締結

ウ 株式会社バリューブックスとの連携・協力

本を使った社会貢献活動や新たなコミュニティの創造等、双方が持つスキルを活用した本をめぐる新しいサービスを実現するための協定を平成 31 年 4 月に締結

エ 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野および株式会社アソビズムとの連携・協力

長野県内のものづくりを通じた創造的な学びのプロセスを整え、共通プラットフォームをつくるための協定を平成 31 年 4 月に締結

オ 長野県立美術館との連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和 4 年 7 月に更新

カ 長野県埋蔵文化財センターとの連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和 5 年 6 月更新

(7) 市町村と県による協働電子図書館（デジとしよ信州）

県内 77 市町村と協働して、令和 4 年 8 月 5 日から開始した電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を継続して実施した。

※詳細は p.22 参照。

(8) 旅する本箱

Learn by Creation NAGANO 実行委員会と協働して、本とメッセージ・感想が県内各地を巡るプロジェクトを実施した。

ア 期間 令和 6 年 3 月～5 月、6 月～7 月、7 月～9 月、9 月～11 月

イ 設置場所

飯山赤十字病院（飯山市）

泊まれる本屋 Re:Public（白馬村）

JR 中込駅（佐久市）

ゲストハウスフルマチ邸（松川町）

ウ 本のテーマ

「懐かしい未来」「あなたも行きたくなる」「もし 1 週間休みがあったら」「今日何食べよう」

5 フォーラム・研修会の開催

(1) 信州発・これからの図書館フォーラム 新シリーズ「共知・共創の広場－もう一歩踏み出す」

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/6（土） 県立長野図書館 10:30～16:30	【信州発・これからの図書館フォーラム】 Wikipedia town in 若里 2024.7.6	UDC 長野ブロックコーディネーター、フォトグラファー 諸田 和幸 氏	10
11/1（金） 県立長野図書館 YouTube ライブ配信 併用	【信州発・これからの図書館フォーラム】 『楽しみ』から始めようー『地域を知る』ってどんなこと？ー (第8回「信州 知の連携フォーラム」を兼ねて開催)	中央学院大学教授 白水 智 氏 駒ヶ根市東伊那公民館館長 春日 由紀夫 氏 伊那市立高遠町歴史博物館学芸員 福澤 浩之 氏 長野県南信工科短期大学教授 松原 洋一 氏 ちいさがた未来民話研究会代表 姫凜子 氏	70
3/8（土） 県立長野図書館 ZOOM 配信併用	【信州発・これからの図書館フォーラム】 読書の未来 信州の読書の歩みを道標として	図書館情報学、人文社会情報学研究者 山崎 沙織 氏	20

(2) 図書館の機能についての一般向け研修・講座

期日・場所	内容	講師等	参加者
5/12（日） 県立長野図書館 13:30～16:30	「信州・学び創造ラボ」ラボ・デザイン会議 # 14 信州・学び創造ラボのエスノグラフィー	アカデミック・リソース・ガイド株式会社デザイナー・ディレクター 李 明喜 氏 一般社団法人ローカルイノベーションイニシアチブ 共同代表／ ミリグラム株式会社取締役 瀧内 貴 氏	17
8/3（土） 8/7（水） 8/9（金） 県立長野図書館	ナツとしょ 図書館バックヤードツアー	県立長野図書館職員	9
8/6（火） 8/8（木） 県立長野図書館	ナツとしょ 図書館探検大作戦	県立長野図書館職員	15
8/2（金） コードマーク御代田 10:30～15:00	「令和6年度林業士入門講座」 地域の森林との関わり方から学ぶ	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 千川 優	12
8/21(水) 県立長野図書館 9:00～16:00	「令和6年度林業士入門講座」 地域で活動するために必要となる情報を扱い知識とそれを活用するための実践的なスキル獲得を目指す。	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 千川 優 畔上 友里 丸山 和子 内川 翼 佃 笙子	13
10/30(水) 県立長野図書館 オンライン配信併用 9:00～16:00	「令和6年度林業士入門講座」 不足している情報はないか最終確認をしよう（公開発表）	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 千川 優 畔上 友里 丸山 和子 内川 翼 佃 笙子	10

(3) 階層別及び技能別に実施する研修事業

期日・場所	内容	講師等	参加者
5/28(火) 県立長野図書館 オンライン配信併用 13:00～16:00	図書館リスクマネジメント研修会	関東学院大学社会学部現代社会学科教授 千 錫烈 氏	78
5/31 (金) 駒ヶ根市文化会館 オンライン配信併用ト 10:30～16:00	長野県公共図書館長会議 【基調講演】 「地域に生きる“屋根のついた公園”・図書館の可能性」 【事例報告】 「大桑村図書館での実践報告」 【グループワーク】	ぎふメディアコスモス・元総合プロデューサー 吉成 信夫 氏 大桑村図書館長 平中 和司 氏 大桑村図書館司書 新井 由美 氏	44
7/2 (火) 市立岡谷図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	19
7/3 (水) 大桑村図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	3
7/4 (木) 県立長野図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 干川 優 畔上 友里	26
7/5 (金) 小海町図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 槌賀 基範 畔上 友里	12
11/22(金) 県立長野図書館 オンライン配信併用 13:00～16:20	長野県公共図書館長研修会 【基調講演】 「これからの地域図書館に求められること：居場所として・地域活動の伴走者として」 【事例発表】 「岡谷図書館ステップアップ事業」 「デジとしよ信州実践報告」 【長野県図書館協会からの情報提供・意見交換】	鎌倉市立玉縄図書館長 佐藤 敦子 氏 市立岡谷図書館長 小坂 英之 氏 箕輪町図書館長 藤澤 康一郎 氏	35
10月～3月 オンライン	中堅職員育成研修会（これからの公共図書館研究会） ○図書館の方向性検討(21名 3回) ○学びのプログラム・学校連携(18名 4回) ○資料活用・レファレンス(31名 4回)	県立長野図書館職員	
1/23 (木) 県立長野図書館 13:30～16:00	長野県図書館協会専門研修 地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 槌賀 基範 県立長野図書館司書 小林 百合	18
1/25 (土) 南箕輪村図書館 14:00～16:30		県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 槌賀 基範	11

(4) 各地域における図書館職員等研修実施及び連絡会への出席

期日・場所	内容	講師等
6/6 (木) 千曲市立戸倉図書館	北信公共図書館連絡協議会館長・庶務担当者会議	県立長野図書館司書 槌賀 基範
9/13 (金) 小谷村役場	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書 内川 翼
10/4 (金) 穂高交流学習センター	中信地区公共図書館長会議	県立長野図書館館長 森 いづみ
10/9 (水) 佐久市立中央図書館	佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会	県立長野図書館館長 森 いづみ
11/5 (火) 飯田市立中央図書館	飯田下伊那図書館協会研修会長野県図書館協会小中学校部会下伊那支部研修会	県立長野図書館司書 千川 優 佃 笙子
11/14 (木) オンライン開催	諏訪高等学校図書館協議会デジタル情報資源活用勉強会	県立長野図書館司書 槌賀 基範
11/29 (金) 穂高交流センター	安曇野市図書館職員研修	県立長野図書館司書 槌賀 基範
11/29 (金) 中野市立図書館	北信公共図書館連絡協議会職員研修会	県立長野図書館司書 千川 優
1/29 (水) 佐久市立中央図書館	佐久市学校図書館・公共図書館の交流と研修	県立長野図書館司書 千川 優
2/4 (火) 佐久市市民創錬センター	佐久市中央図書館建替検討委員会	県立長野図書館館長 森 いづみ
2/8 (土) 松本市立博物館	ウィキペディアタウン in 学都松本	県立長野図書館司書 丸山 和子
2/14 (金) 松本市立博物館	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書 内川 翼
2/26 (水) むとすプラザ（丘の上結いスクエア内）	令和6年度飯田下伊那図書館協会（兼長野県図書館協会下伊那支部）支部会・研修会	県立長野図書館司書 千川 優 佃 笙子
3/15 (土) 松本市文書館	松本市文書館講座	県立長野図書館司書 丸山 和子

6 信州・学び創造ラボ

「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指し 2019 年 4 月 6 日に開設。これからの図書館や公共空間のあり方を考える実験室として、また、信州のこれからの学びの姿を試し体感できる場所として運用している。



(1) 各フロアコンセプト

信州情報探索ゾーン – 信州の「知の営み」を体感する

県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書、戦時中に検閲処分を受けた資料などを六角スペース内に展示し、信州の過去と未来をつなぐデジタルな情報源も埋め込む。奥には畳コーナーやカラフルなクッションフロアを設け、利用者の自由な発想を促し、様々な活動に結びつくことを見込んでいる。

Co-Learning ゾーン – 多様な情報や人がつながり、アイデアをかたちにする

ワークショップやミーティングなど、グループでの活動を実現するエリア。PC 接続モニター、ホワイトボード、電子黒板など、対話をその場で可視化しながら共有できる機能を設けた。そこで生まれたアイデアを具体化し、一般利用者の知的好奇心を喚起する設備として、キッチンブースやマイクロライブラリーを設置している。

モノコトベース – アウトプットからはじまる学び

UV プリンターやレーザーカッター等の工作機器を中心に設けたメイカースペース。創造的な学びのプロセスを実感し、アウトプットすることが次の学びにつながる循環の場となることを意図している。個人単位での利用は目的にしておらず、興味・関心が重なる仲間とともにコミュニティをつくり、自由で自立的な空間の形成を目指す。

(2) 主な取組等

空間デザインや運営のあり方について、整備段階から一般参加者と共にワークショップで議論を重ねてきた。オープン後も継続し「ラボ・デザイン会議」「Labo.café」の形で定期開催している。（テーマは毎回異なる）

※はオンラインを含む開催形式（主会場、サテライト会場を含む）

区 分	内 容（令和 6 年度）
「モノコトベース」 関係の催し	・モノコトベース・オープンデー（月 1 回） ・利用カードデザインワークショップ（月 2 回） ・機器安全講習会（6 月～月 1 回程度、修了者 22 名） ・Labo.café（モノコトベースの使い方を考える会） ・モノコトフェス ・レーザーカッター体験会（2 回） ・3D プリンタお手軽体験（企画運営：信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・Fablab 長野）
主催・共催企画	・ラボ・デザイン会議（信州・学び創造ラボのエスノグラフィー） ・信州知の連携フォーラム（「楽しみ」から始めよう：「地域を知る」ってどんなこと？※） ・信州横断[昭和・現代史]講座（歴史的類似性から読み解く：ガザ・ウクライナ・満洲※） ・これからの図書館フォーラム（Wikipedia town in 若里、読書の未来：信州の読書の歩みを道標として※） ・信州アーツカウンシル 2024 パレード in 長野（「文化のソーシャルワーカー」をめぐる：越境する文化芸術の機能） ・Labo.café（旅する本箱お帰りなさいの会※、科学するとはどういうことか：中学生が理科の授業で考えたこと※） ・林業士入門講座 ・体験・発見やってみ!?児童図書室「体験の貸出」出張中！
視察・取材・見学	自治体、図書館および教育機関等（19 件）

(3) 管理運営等

区 分	役 割
図書館職員	・施設配置、利用方法等の案内や説明 ・利用者同士の交流、利用者による自立的運営を促す機会を提供 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
トレーナー （委託契約）	・ラボの利用を促進するための利用支援 ・モノコトベース設置機器の安全指導 ・人と人をつなぐイベントの開催
利用者	・利用者コミュニティの組織化 ・自主的な施設の管理運営方法を検討し実施

7 電子書籍サービス

(1) 県立長野図書館電子書籍サービス

令和 4 年 8 月 5 日から、紀伊國屋書店の「KinoDen」による電子書籍サービスを開始した。
(県立長野図書館利用カード所持者が、当館ホームページ内の「マイライブラリー」にログインすることによって閲覧可能となる、リファラ認証方式による。)

令和 6 年度末タイトル数 (a)	1,827 タイトル
令和 6 年度中閲覧タイトル (b)	1,588 タイトル
総閲覧数 (c)	3,412 回

利用率 (全コンテンツのうち利用されたコンテンツの割合 b/a)	86.9%
回転率 (1 コンテンツの平均利用回数) (c/a)	1.9 回

(2) 市町村と県による協働電子図書館 (デジとしよ信州)

令和 4 年 8 月 5 日から市町村と県との協働による電子図書館「デジとしよ信州」によるサービスを提供した。

令和 6 年度末 ID 数 (a)	25,570 ID
令和 6 年度末コンテンツタイトル数 (b)	25,050 タイトル※
令和 6 年度末貸出件数 (総閲覧数) (c)	232,099 回

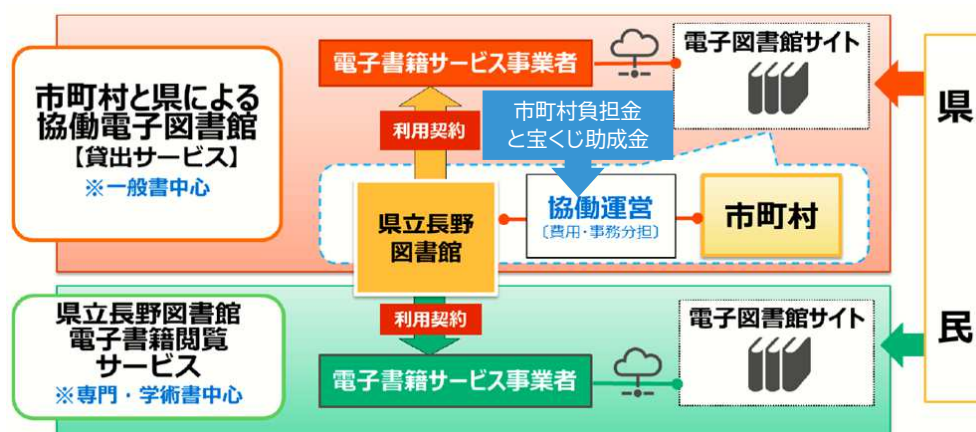
1 ID の平均利用回数 (c/a)	9.1 回
1 コンテンツの平均利用回数 (c/b)	9.3 回

※購入タイトル数は 13,787

(3) アクセシブルライブラリー

視覚障がい者向けの「市町村と県による協働電子図書館 (デジとしよ信州)」のサービスとして、令和 5 年 5 月から開始。

- ・コンテンツ数 19,311 タイトル
- ・県内登録者数 25 人



電子書籍サービス全体図

8 読書バリアフリーサービス

(1) データベース類

・サピエ図書館

全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するインターネットによる視覚障害者情報総合ネットワークに令和2年4月から加盟。サピエ図書館及び全国約220の加盟施設・団体が登録したデータをダウンロードし、デジター図書を作成のうえ、貸出。

・視覚障害者等用データ送信サービス承認館

国立国会図書館から視覚障害者等用データの送信を受けることができる。

・アクセシブルライブラリー(P24 参照)

デジとしよ信州の機能の一つである「アクセシブルライブラリー」(視覚障がい者専用の電子図書館サービス)の登録を令和5年5月から開始。

利用者IDカードは、県立長野図書館か最寄りの図書館へ申込が必要。

(2) 機器・読書補助具類

・拡大読書器 (1 台)

・プレクストーク (1 台)

・ルーペ、老眼鏡、リーディングトラッカー



拡大読書器



りんごの棚

(3) 書架等

・りんごの棚

LLブック、点字本等

バリアフリー図書の展示・貸出



9 令和6年度主要事業実施状況【概要版】

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(1) 資料・情報 (ア) 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」を戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担をし、蔵書構築をすすめる。 (イ) 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に付けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に事例を登録することで、調べ方を発信していく。 (ウ) 情報アクセス環境の地域間格差是正を図るため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施する。 (エ) 収集した資料を県民が利用し、さらなる資料を「創造」していく支援を行う。 (オ) 読書バリアフリーに資するサービスについて、分かりやすい広報を行う。	実施状況及び成果、今後の課題等 (ア) 令和4年8月から開始した、「県立長野図書館電子書籍閲覧サービス」及び「市町村と県による協働電子図書館」（デジとしよ信州）について、資料を更 新し引き続きサービスの充実を図った。 地域資料収集の取組みとして、古書の流通情報を調査し、所蔵のない地域 資料（郷土資料）や複本の確保に努めた。 (イ) 令和6年度の調査相談件数は以下のとおり。引き続き「調べ方」を伝える丁寧な調査相談に努めたい。 【実績】 令和6年度 6,012件 令和5年度 6,696件 (ウ) 令和6年度の相互貸借の状況は、以下のとおり。利用者が求める情報を得ることができるよう、相互貸借以外の選択肢も含め柔軟に対応できるよう努めたい。 【実績】 令和6年度 貸出冊数2,896冊 借受冊数346冊 令和5年度 貸出冊数3,619冊 借受冊数395冊 (エ) 3階の「信州・学び創造ラボ」で開催されるイベントに合わせて当館の所蔵資料を展示し、参加者等がより深く学び、アウトプットにつながるよう取り組んだ。 (オ) 2階一般図書室に大活字図書、LLブック、拡大読書器等を配置した「りんごの棚」を設置している。サピエ視覚障害者総合情報ネットワーク、国立国会図書館「みなサーチ」などを活用したサービスについては検討段階。

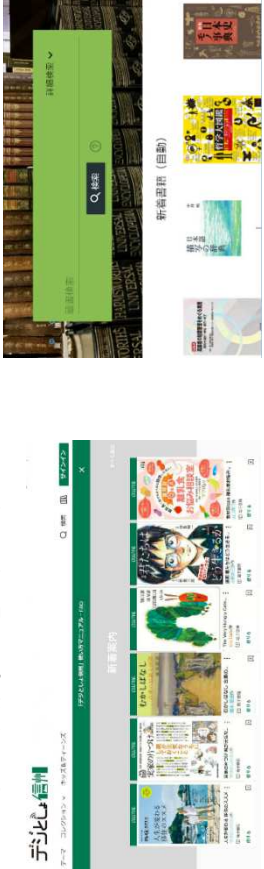
主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進 (ア) 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、人と人が繋がり合い、新たな社会的価値が創造されていくモデル空間を目指し、これからの公共空間のあり方を考え、また信州の姿を試し体感できる場としての運営を進める。 (イ) 学びの成果をアウトプットし、試行錯誤ができる場として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを広げていく。 (ウ) 実空間と情報空間を融合させ、ICT を活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。  【ラボ・デザイン会議 #14】  【ラボカフェ #24】  【レーザーカッター体験会】  【機器安全講習会】	(ア) (イ) (ウ) 「信州・学び創造ラボ」の活用やコミュニティづくり等を目的とし以下のワークショップ等を実施した。参加しやすさに配慮し、リアル×オンラインのハイブリッド開催を標準化した。 《ラボ・デザイン会議》 #14 テーマ：「信州・学び創造ラボ」のエスノグラフィー 《ラボカフェ》 #23 モノコトベースの使い方を考える会 #24 旅する本箱お帰りの会 #25 科学するとはどういうことか：中学生が理科の授業で考えたこと 《モノコトベース》 ラボ・トレーナーとして、アプリケーション機器の専門的知見を持つ有識者へ機器の利用支援を委託した。 モノコトベース5周年を迎え、「ラボ・カフェ#23」のアイデアを元にした運用ルール「モノコトベースご利用時のお願い」を作成した。 オープンデー (111回) 8月に50回を迎え、記念イベントとしてレーザーカッター体験会を実施した。 オリジナルライブラリーカードワークショップ (23回) 機器安全講習会 (8回・22名) 一部の機器のリニューアルを受け、リニューアル機器の安全講習会を開始した。受講者には修了証を交付し、オープンデーでの機器利用時には、講習未受講者は職員が、修了生は自身で機器を操作するように運用を見直した。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
【体験発見やってみ!?!】 【モノコトフェス】 【オープンカウンシル! vol.4】 【3D プリントお手軽体験】	実施状況及び成果、今後の課題等 《こどものモール》(7月14日・3月9日開催) 長野市によるチケットが利用できる、子どもの体験プログラム。 3階「信州・学び創造ラボ」を会場として、多くの子ども&保護者が来館し、体験プログラムを楽しんだ。公共の場（図書館）での開催にあたっては、チケットを持たない人も参加できるよう工夫した。 参加人数は、7月14日が約200人、3月9日が約300人。 ※県立長野図書館として 「体験・発見やってみ!?!-児童図書室『体験の貸出』出張中!-」を実施。 《モノコトフェス》(12月8日開催) モノコトベース発のコミュニティが主体となった実行委員会により開催。 電子工作から手作品まで、幅広いジャンルの自作品の展示・発表を実施。 参加人数は約120人。 ※県立長野図書館としてレーザーカッター体験会を実施。 《信州アーツカウンシル2024バレードin長野》(2月5日～11日) 展示を行うとともに、「オープンカウンシル! vol.4「文化のソーシャルワーカー」をめぐって ～越境する文化芸術の機能」(パネルディスカッション)を実施(信州アーツカウンシルとの共同企画)。 《3Dプリンタお手軽体験》(3月9日) 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・Fablab長野により、子ども向け3Dプリンターと3Dペンの体験会を実施。

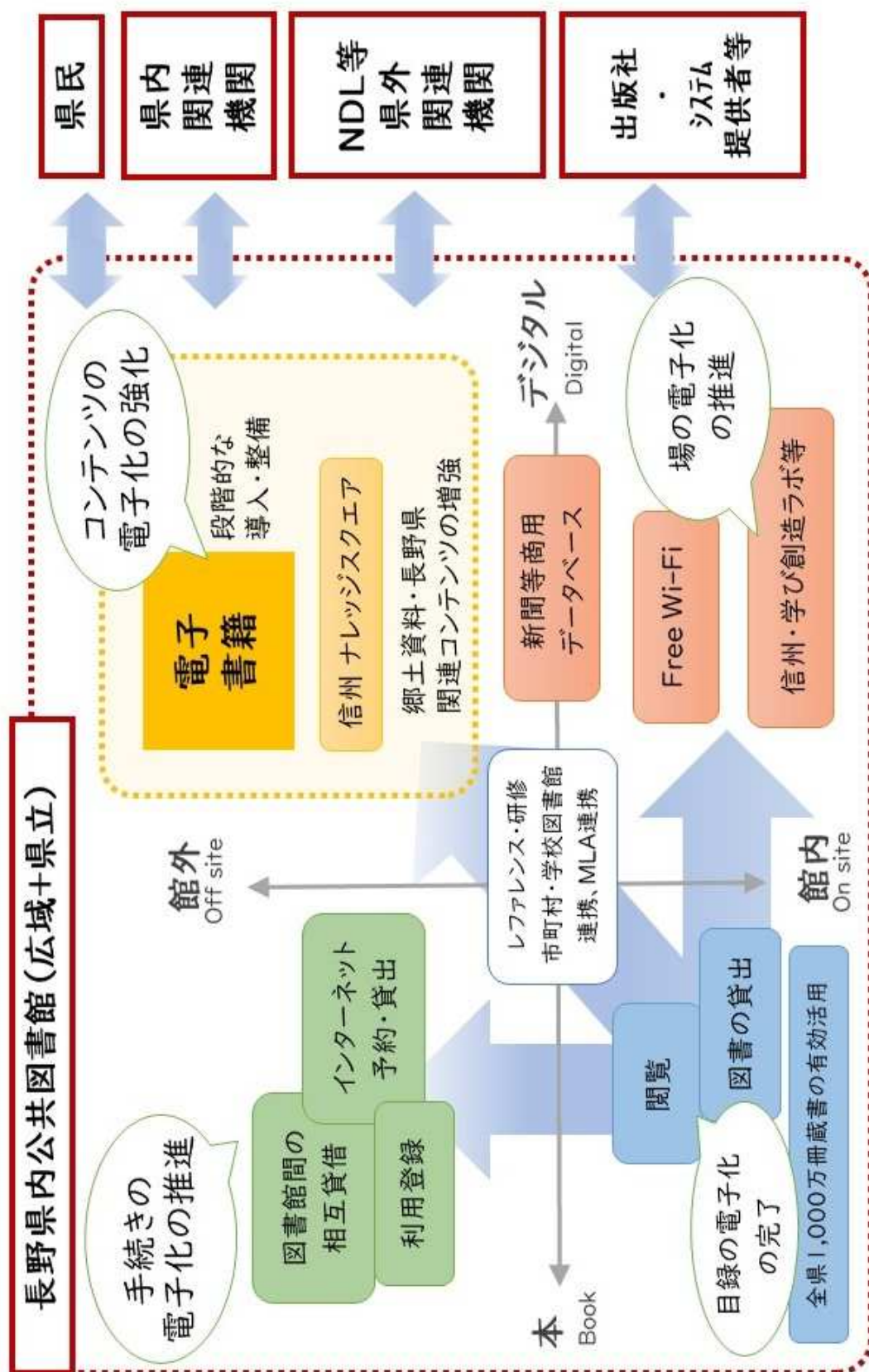
主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(Ⅰ) 各フロアコンセプト (1 階児童図書室「体験・発見・やってみ?!」・2 階一般図書室「情報の地図・世界の再発見」における新しい発見・学びのプログラムを展開する。 【2 階・児童図書室展示】 【1 階・児童図書室展示】 【体験・発見のための機器・ボードゲーム】等】	(Ⅰ) 児童・YA世代の学びの場としての機能の充実を行った。 ・中学生の職場体験や高校の授業における「探究学習」で利用において、図書館の利用案内やレファレンス等で、探している情報を手渡すだけでなく、図書館の使い方や本にとらわれない情報の調べ方を伝えることができた。 ・児童図書室設置のアナログゲーム（積み木・ボードゲーム・カードゲーム等）を充実することに加え、ゲームを行えるようなパレットを設置し、手に取って体験・楽しむことが出来る環境を整備した。 【信州学び・創造ラボへの出張体験会の様子】 ・夏休みには、子どもたちが館内を巡って謎を解くスタイルの参加型プログラムを実施した。室内展示は、入口からの動線を意識しながら多様な問いかけ型の棚を構成し、利用者の探究心を引き出すための仕掛けを施している。 ・これまでボードゲーム等は当館内での利用のみとしていたが、県内の市町村や学校図書館等においても活用の可能性を検討していただけたよう、システム登録を行って相互貸借に対応する準備を進めている。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援 (ア) 司書としての役割を果たす人材育成の機会として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に活かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。 (イ) 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域における活動を後押しする。  【レファレンス実習】  【林業士入門講座】  	(ア) 図書館職員の中堅研修に位置づける「これからの公共図書館研究会」について、前年までの4部門を整理し、3部門を設け、県内公共図書館関係者が計11回のオンライン研究会を開催した。 現場での課題を持ち寄り、研究・検討し、情報交換を行うプラットフォームとして定着している。オンライン開催方式により、フレキシブルで地域・立場を問わない積極的な参加が実現している。 ・図書館の方向性検討 3回 ・学びのプログラム・学校連携 4回 ・資料活用・レファレンス 4回 ・初任者研修（レファレンス実習）は、会場館として初めて手をあげていただいた図書館を中心に県内4地区で開催した。（岡谷市、大桑村、小海町、県立長野） ・林業総合センターが実施する「林業士入門講座」との連携により、共知共創の場を認識し、地域の中で継続的に活用していくためのリテラシープログラムは様々な様相を模索する中で、社会人の個別の学びに直結し、人と人が結びつく方向性を確認した。（平成29年～） ・長野県図書館協会が実施するステップアップ研修「地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために」において、講師を務めた。地域資料や学校資料を参加者が持ち寄り、上向きスキャナでデジタル化し「信州デジタルコモンズ」に登録する体験をした。また、著作権処理などの悩みについて解決にむけた一歩となるよう、話し合う場を設けた。 学校9校を含む、20機関から29名が参加。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
【ステップアップ研修】 (ウ) 広く社会教育に関わる分野や全国の取組を俯瞰したテーマ設定のもと、県民の学びを創発する機会として「信州発・これからの図書館フォーラム」等を開催する。 (工) 信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。	実施状況及び成果、今後の課題等 (イ) 北信、中信、飯田下伊那、佐久市、安曇野市の公共図書館連絡会や研修会に出席し、オプザバー、講師等を務めた。 講義内容は、学校図書館と公共図書館の取組、県立図書館職員の県立図書館の市町村への支援、著作権など。 また、市町村図書館支援業務として以下の市町村を訪問。 ・飯島町図書館 ・中川村図書館 ・市立岡谷図書館 ・富士見町図書館 ・栄村教育委員会（デジとしよ信州窓口開設支援） ・木島平村公民館図書室 ・飯田市立図書館 (ウ) 「これからの図書館フォーラム」の新たな展開として、県内外、図書館界内外に開かれたテーマを計画、実施。会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で開催した。 開催実績 第1回 「Wikipedia town in 若里」 第2回 「信州・知の連携フォーラム」を兼ねて開催 第3回 「読書の未来 信州の読書の歩みを道標として」 (工) 「信州・知の連携フォーラム」第8回を実施（当番：当館） （テーマ：「楽しみ」から始めよう―「地域を知る」ってどんなこと？―） 午前、参加機関による次回開催予定の確認、各機関のシステム基盤についての現状と課題、意見交換等を実施。午後、先人の営みが形となった地域資源の保全・活用を「楽しみながら」実施する事例を紹介する基調講演、事例発表を行った。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(4)「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進 (ア) 図書館機能の高度化の方策として、県内各種機関所蔵情報のデジタル化・公開支援、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、これらを融合し活用する学びを推進する。 (イ) 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、地域資料（郷土資料）を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」の拡充を図るとともに、県民の学びの成果や暮らしの記録を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。  【信州ナレッジスクエア／ eReading Books】 (ウ) 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」によって、読書バリアフリー、学校と連携した活用、地域史料（郷土資料）の電子化・公開を進める。  【市町村と県による協働電子図書館 「デジとしよ信州」】 【県立長野図書館電子書籍サービス】	(ア) 令和5年度に外部委託によりデジタル化を実施した当館資料300点について著作権調査を実施し、公開準備を進めた。令和6年度は、大正期から昭和戦前期までの郷土資料150点のデジタル化を行った。今後のデジタル化についても、優先順位をつけて取り組んでいく。 ・商用データベースの提供について、利用状況に合わせて見直しを行った。引き続き、利用促進が課題である。 (イ) 新たに3機関が「信州デジタルコモンズ」の登録機関となり、コンテンツの登録作業を進めている。このうち、安曇野市文書館は、清沢列の『暗黒日記』を6月に登録した。引き続き参加団体の増加に努める。 (ウ) 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」を令和5年度から継続して提供した。 ・「デジとしよ信州」運営状況（R7.3月末時点 サービス開始からの累計値） 【利用登録者数】25,570名（全ての市町村に利用登録者がいる） 【蔵書数】計25,050冊のうち、購入（有償）コンテンツ計13,787冊 【貸出数】232,099冊（累計） - 最多貸出年代：10代(30%)、次いで40代(15%)、50代(15%) ・「県立長野図書館電子書籍サービス」運営状況 - R6年度【閲覧数】3,412回 - R5年度【閲覧数】2,801回

「長野県 eLibrary 計画」概念図



Ⅲ 統計資料(令和6年度実績)

1 利用状況

(1) 入館者数及び開館日数

(単位：人)

項 目		令和6年度 (280日)						令和5年度 (283日)	
		平日 (180日)		土日 (90日)		祝日 (10日)			
		利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	利用者数	1日平均		
入館者数		305,941	180,172	1,001	111,369	1,237	14,400	1,440	380,226
参 考	会議・施設見学等※	5,677	3,674	20	1,965	22	38	4	5,613
	一般図書室	105,551	65,359	363	35,777	398	4,415	442	108,694
	児童図書室	65,066	32,954	183	29,179	324	2,933	293	61,903
	信州・学び創造ラボ	105,597	59,448	330	41,574	462	4,575	458	94,956
	会議室	47,281	24,210	135	20,869	232	2,202	220	41,796

注：（ ）内は開館日数。平成23年度から祝日開館実施。（土日の祝日も含む。）

※会議・施設見学等について、オンライン開催含む。

(2) 登録者の状況

(単位：人)

項 目	新規登録者		登録者累計（令和6年度末）			
	令和6年度	令和5年度		男	女	計
総 数	2,713	3,055	総 数	44,365	61,724	106,089
内 一 般	2,100	2,384	一 般	41,897	59,025	100,922
内 児 童	613	671	児 童	2,468	2,699	5,167

インターネットサービス登録者

(単位：人)

項 目	登録者		登録者累計（令和6年度末）		
	令和6年度	令和5年度	一般	児童	総数
総 数	367	375	4,278	190	4,468

※児童は15歳以下、一般は16歳以上

(3) インターネット予約貸出の状況

(単位：件、冊)

項 目	令和6年度		令和5年度	
	件 数	冊 数	件 数	冊 数
当 館 受 取	1,389	3,398	1,136	2,540
指 定 館 受 取	752	2,069	677	1,976
計	2,141	5,467	1,813	4,516

(4) 資料の貸出状況

(単位：冊)

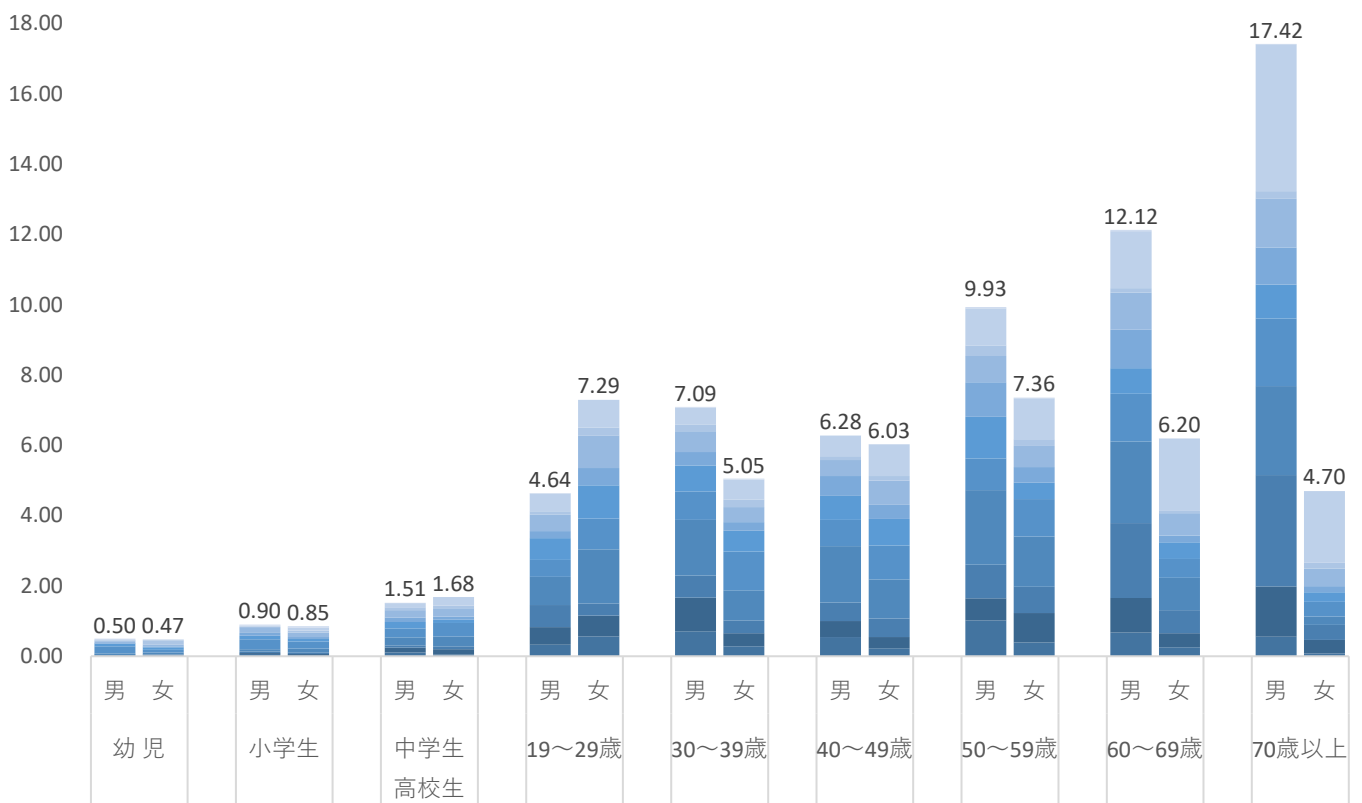
項 目	令和6年度			令和5年度		
	一般図書	児童図書	合計	一般図書	児童図書	合計
総 数	42,515	46,282	88,797	44,665	52,401	97,066
0 総記	2,476	323	2,799	2,222	360	2,582
1 哲学	3,512	580	4,092	3,480	652	4,132
2 歴史	4,825	1,244	6,069	4,766	1,485	6,251
3 社会科学	7,576	1,269	8,845	7,660	1,525	9,185
4 自然科学	5,355	3,417	8,772	6,011	4,135	10,146
5 技術	3,838	1,428	5,266	4,122	1,667	5,789
6 産業	2,816	641	3,457	3,082	588	3,670
7 芸術	3,984	2,143	6,127	4,189	2,278	6,467
8 言語	1,000	590	1,590	1,193	633	1,826
9 文学	6,993	6,583	13,576	7,895	7,244	15,139
E (絵本)	0	28,031	28,031	0	31,781	31,781
その他	140	33	173	45	53	98

令和6年度 図書一般 延べ貸出冊数 42,515冊に対する年齢層別・分類別シェア

(単位：冊)

		分類											計
年齢	性別	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	
幼児	男性	6	6	3	16	86	34	3	26	10	3	18	211
	女性	11	5	6	22	31	31	11	25	47	7	5	201
小学生	男性	26	11	17	29	119	43	35	69	7	13	13	382
	女性	14	12	15	48	87	29	26	54	22	40	15	362
中学生 高校生	男性	42	59	29	94	112	75	55	91	32	52	1	642
	女性	16	65	35	120	166	37	40	101	28	104	0	712
19～29歳	男性	136	215	267	340	205	262	88	196	42	215	8	1,974
	女性	236	255	146	652	373	404	208	397	90	337	0	3,098
30～39歳	男性	299	409	266	672	344	315	162	254	78	209	7	3,015
	女性	117	159	157	363	467	254	102	184	90	241	11	2,145
40～49歳	男性	229	195	222	685	316	289	243	194	46	248	3	2,670
	女性	94	135	225	473	410	320	172	293	57	373	13	2,565
50～59歳	男性	431	267	407	901	383	504	419	319	129	448	13	4,221
	女性	164	358	316	608	455	196	189	257	81	496	8	3,128
60～69歳	男性	283	420	905	986	578	312	463	449	53	691	14	5,154
	女性	106	171	277	392	227	204	80	272	28	868	9	2,634
70歳以上	男性	234	608	1,348	1,075	819	410	449	588	93	1,779	2	7,405
	女性	32	162	184	100	177	119	71	215	67	869	0	1,996
計	男性	1,686	2,190	3,464	4,798	2,962	2,244	1,917	2,186	490	3,658	79	25,674
	女性	790	1,322	1,361	2,778	2,393	1,594	899	1,798	510	3,335	61	16,841
	男女計	2,476	3,512	4,825	7,576	5,355	3,838	2,816	3,984	1,000	6,993	140	42,515

20.00 令和6年度 図書一般 延べ貸出冊数 42,515冊に対する年齢層別・分類別シェア (%)

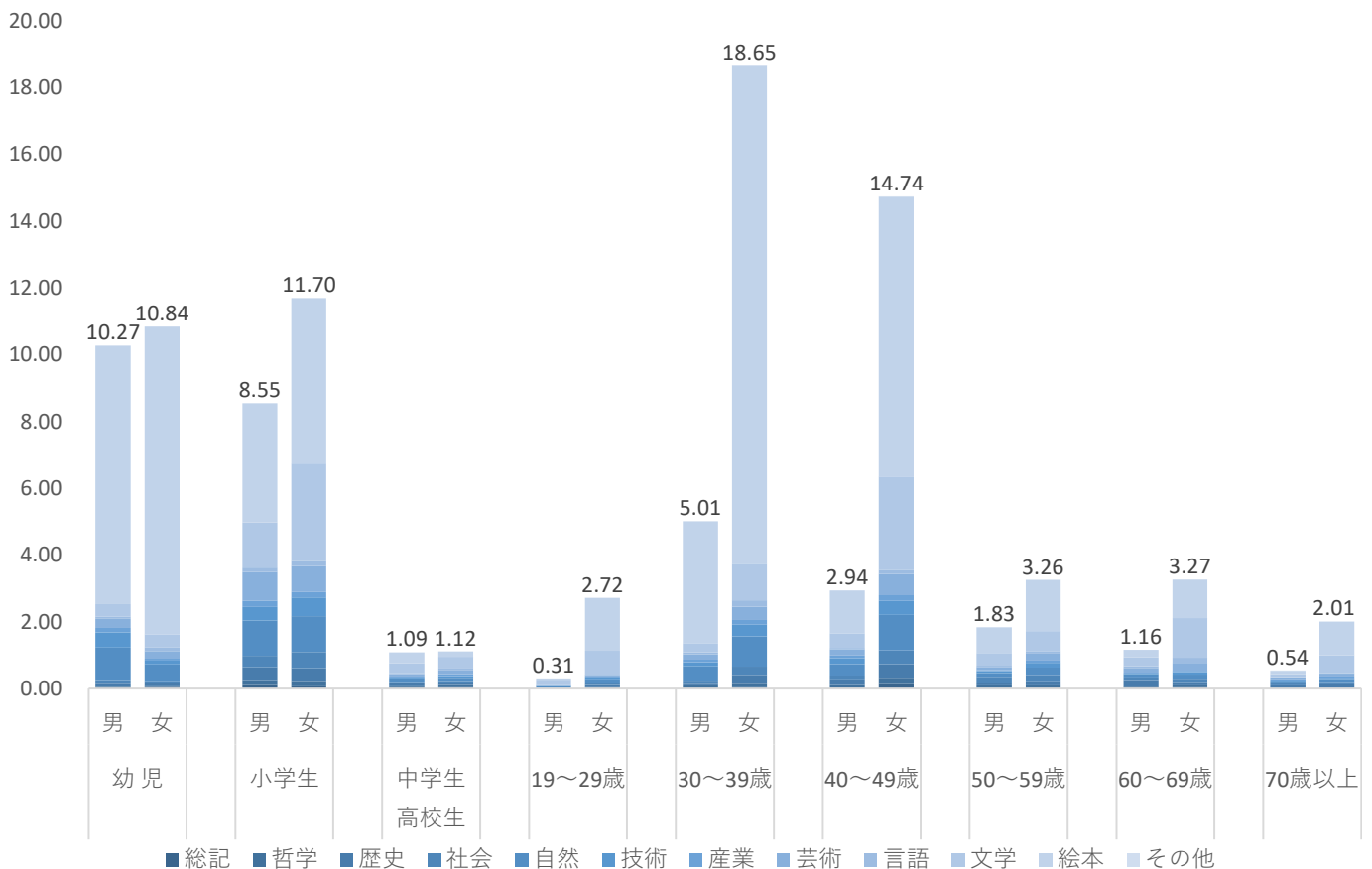


令和6年度 図書児童 延べ貸出冊数 46,282冊に対する年齢別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類												計
		総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	その他	
幼児	男性	17	10	38	57	446	211	63	133	23	172	3,581	0	4,751
	女性	22	11	44	27	230	54	26	105	49	185	4,265	0	5,018
小学生	男性	52	66	177	159	487	191	84	401	62	623	1,655	0	3,957
	女性	32	76	173	227	497	260	72	363	70	1,352	2,293	0	5,415
中学生 高校生	男性	21	12	40	18	50	13	14	30	19	135	153	0	505
	女性	18	32	29	27	45	21	26	56	23	166	74	0	517
19～29歳	男性	0	4	4	4	19	4	6	9	0	73	19	0	142
	女性	0	18	30	38	44	24	14	23	3	332	729	3	1,258
30～39歳	男性	15	29	24	42	201	56	36	72	27	127	1,689	0	2,318
	女性	20	49	120	115	419	165	65	184	88	504	6,899	2	8,630
40～49歳	男性	12	39	78	52	158	80	39	89	16	204	592	0	1,359
	女性	63	89	190	185	496	194	77	294	57	1,297	3,868	12	6,822
50～59歳	男性	4	43	29	89	52	24	15	45	16	175	357	0	849
	女性	16	29	57	86	103	65	33	96	35	276	710	1	1,507
60～69歳	男性	7	22	93	34	44	10	10	68	20	126	102	0	536
	女性	20	27	44	49	57	35	16	111	68	552	524	12	1,515
70歳以上	男性	0	14	32	29	24	12	18	24	6	38	52	3	252
	女性	4	10	42	31	45	9	27	40	8	246	469	0	931
計	男性	128	239	515	484	1,481	601	285	871	189	1,673	8,200	3	14,669
	女性	195	341	729	785	1,936	827	356	1,272	401	4,910	19,831	30	31,613
	男女計	323	580	1,244	1,269	3,417	1,428	641	2,143	590	6,583	28,031	33	46,282

令和6年度 図書児童 延べ貸出冊数 48,282冊に対する年齢別・分類別シェア（％）



(5) 書庫資料の利用状況

(単位：冊)

項 目	令和6年度				令和5年度			
	一般資料	郷土資料	児童資料	合計	一般資料	郷土資料	児童資料	合計
総 数	9,361	9,058	3,946	22,365	10,629	5,836	4,562	21,027
0 総記	370	25	17	412	318	100	27	445
1 哲学	619	32	30	681	606	44	48	698
2 歴史	1,110	1,444	73	2,627	1,335	1,170	165	2,670
3 社会科学	1,215	583	36	1,834	1,212	465	77	1,754
4 自然科学	370	69	139	578	426	68	177	671
5 技術	449	105	57	611	406	123	94	623
6 産業	252	178	32	462	262	110	21	393
7 芸術	583	74	177	834	599	106	212	917
8 言語	86	3	47	136	108	15	30	153
9 文学	2,197	97	1,184	3,478	2,619	90	1,054	3,763
E (絵本)	0	0	2,142	2,142	0	0	2,646	2,646
新聞・雑誌他	2,110	6,448	12	8,570	2,738	3,545	11	6,294

(6) データベースの利用および複写の状況

(単位：人、枚、回)

項 目	令和6年度				令和5年度			
	利用者数※5	複写枚数	ログイン回数※6	検索回数※7	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数
電子複写機	2,359	27,737			2,375	34,468		
マイクロフィルム	12	254			4	66		
官報情報検索	7	93	—	—	15	23	—	—
法情報総合データベース	11	271	96	136	7	26	73	67
信濃毎日新聞データベース※1	393	2,093	1,442	25,232	350	2,139	2,193	22,141
朝日クロスサーチ (旧・聞蔵Ⅱ) ※2	58	123	333	—	64	409	329	—
日経テレコン21	44	180	—	—	38	219	—	—
毎索	35	34	124	324	24	60	138	269
ヨミダス	106	41	163	386	32	189	61	962
中日新聞・東京新聞記事データベース	42	21	57	1,405	58	15	74	1,139
市場情報評価ナビ※3					1	0	12	—
J-DreamⅢ	20	357	45	159	26	480	65	321
ジャパンナレッジ	7	10	237	1,673	8	23	237	1,693
ルール電子図書館	2	0	47	206	3	81	53	187
国立国会図書館デジタルコレクション	129	958			90	1,916		
信州デジタルコモンズ	0	0			0	0		
その他	3	90						
写真撮影	39	—			40	—		
郵送複写	87	1,596			96	1,537		
他館所蔵資料複写取次※4	13	23件			16	110件		

※1 令和3年4月から信濃毎日新聞のログイン数と検索回数を記載。※5 利用者数には複写をしていない利用者を含む。

※2 ログイン回数はアクセス数超過を含む。

※6・7 ログイン回数と検索回数は、当館利用者と職員による回数を含む。

※3 令和5年度末で契約終了。

※4 他館へ依頼しているため、申込枚数ではなく申込件数。

(7) 相互貸借の利用状況

ア 相互貸借の状況

(単位：冊)

区 分		令和6年度			令和5年度		
		貸出冊数	借受冊数	合計	貸出冊数	借受冊数	合計
合 計		2,859	346	3,205	3,468	392	3,860
県 内	公共図書館	1,536	220	1,756	1,689	270	1,959
	公民館図書室	260	0	260	315	10	325
	学校図書館	963	21	984	1,323	23	1,346
	計	2,759	241	3,000	3,327	303	3,630
県 外	公共図書館	98	89	187	139	76	215
	学校図書館	2	16	18	2	13	15
	計	100	105	205	141	89	230

※相互貸借の対象機関は公共図書館・大学図書館・県内所在の高校図書館・公共図書館未設置自治体における公民館図書室および学校図書館。

イ 送料の支援状況

(単位：件)

区 分		令和6年度			令和5年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県 内	計	1,146	934	2,080	1,206	987	2,193
	公共図書館	806	626	1,432	777	658	1,435
	公民館図書室	84	79	163	147	95	242
	学校図書館	256	229	485	282	234	516

※公共図書館、図書館未設置町村の公民館図書室及び小・中学校、公立・私立高等学校等、大学は往復送料を当館が負担。

その他の学校図書館は、往路分の送料を負担している。

※県外の相互貸借については、依頼した施設が送料負担となる。

(8) 団体貸出の利用状況

ア 団体貸出の状況

区分	令和6年度	令和5年度
件数	12	23
貸出冊数	37	151

イ 送料の支援状況

区 分		令和6年度			令和5年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県内の対象機関		10	3	13	11	3	14

※団体貸出の対象機関は議会図書館・県内博物館及び美術館・病院図書室・長野県の組織及び機関・その他館長が認めた団体。

(9) マイクロフィルムの利用状況

項 目	令和6年度	令和5年度
利用件数	12	4
利用本数	27	13

(単位：件、本)

(10) インターネット端末の利用状況（設置台数 PC:2台 タブレット:4台）

項 目	令和6年度	令和5年度
利用者数	PC 1,150	1,308
	タブレット 1,467	1,622

(単位：人)

(11) 複製物・デジタルコンテンツ使用の許可状況

図書館資料を複製した場合の二次利用については、令和2年度から当館への申請は不要としている。
また、「信州デジタルコモンズ」に掲載している当館所蔵資料については、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CCライセンス）を付与しているため、ライセンス条件の範囲内で自由に二次利用することができる。

(12) ホームページのアクセス状況

県立長野図書館のホームページ（<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>）へのアクセス状況

(単位：件、%)

項 目	令和6年度	令和5年度	対前年度比 (%)
トップページ	173,938	190,713	91.2
県立長野図書館のいま	11,324	11,979	94.5
本・情報をさがす	34,150	35,458	96.3
レファレンスサービス	1,280	1,361	94
県立長野図書館をつかう	16,297	18,125	89.9
利用案内	15,929	16,737	95.2
つながる信州の図書館	7,648	8,933	85.6
信州ナレッジスクエア トップページ	61,895	72,601	85.3
Shinshu Book Search (長野県内図書館横断検索)	142,955	138,304	103.4
信州デジタルコモンズ	94,758	89,225	106.2

※2020年3月、図書館システム更新およびホームページ変更。

2 図書館資料の状況

(1) 図書資料購入及び蔵書の状況

(単位：冊)

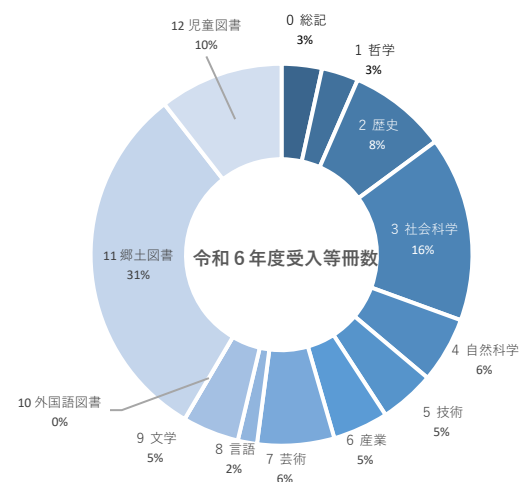
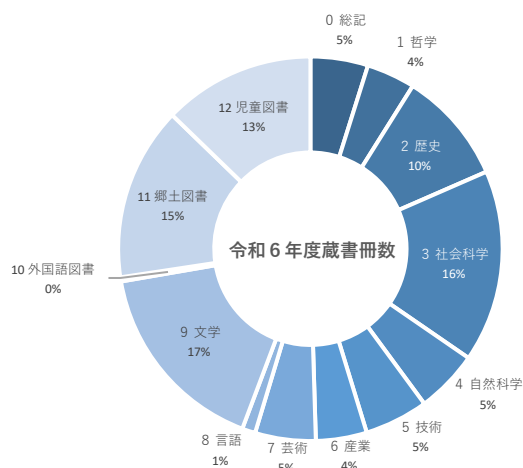
	令和6年度					令和5年度
	蔵書冊数	開架冊数	増加数	受入数	除籍	蔵書冊数
0 総記	38,006	7,448	408	412	4	37,598
1 哲学	32,131	7,037	376	380	4	31,755
2 歴史	74,513	8,182	993	1,010	17	73,520
3 社会科学	127,022	13,354	1,824	1,894	70	125,198
4 自然科学	41,405	10,140	662	676	14	40,743
5 技術	41,995	7,917	556	566	10	41,439
6 産業	33,560	5,817	552	569	17	33,008
7 芸術	39,911	7,992	772	787	15	39,139
8 言語	8,856	2,558	191	197	6	8,665
9 文学	129,499	10,871	162	581	419	129,337
10 外国語図書	2,865	0	0	0	0	2,865
11 郷土図書	114,429	14,314	3,741	3,749	8	110,688
12 児童図書	100,243	26,269	1,243	1,272	29	99,000
計	784,435	121,899	11,480	12,093	613	772,955

※10外国語資料は、一般図書と児童図書に分類される資料の合計値。

<令和6年度図書資料の内訳>

(単位：冊)

	一般図書			郷土図書			児童図書		
	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍
0 総記	329	83	4	20	129	0	37	1	0
1 哲学	345	35	4	35	26	0	11	2	0
2 歴史	792	218	17	242	594	4	72	2	0
3 社会科学	1,569	325	70	136	705	2	166	22	2
4 自然科学	615	61	14	61	119	0	156	8	1
5 技術	440	126	10	77	182	0	93	6	1
6 産業	479	90	17	61	374	2	47	5	0
7 芸術	648	139	15	252	271	0	311	20	21
8 言語	184	13	6	6	20	0	32	0	0
9 文学	475	106	419	239	200	0	248	4	3
外国語図書	0	0	0	0	0	0	27	2	1
計	5,876	1,196	576	1,129	2,620	8	1,200	72	29



(2) 新聞・雑誌の所蔵状況

令和6年度受入タイトル数

(令和7年3月31日現在) (単位:種)

項 目	一 般		郷 土		児 童	外国語	計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	購入	購入	寄贈	
新 聞	12	30	20	25	1	1	33	55	88
雑 誌	131	206	23	343	12	4	170	549	719
追 録	4	0	3	0	0	0	7	0	7

(3) 貴重資料コレクション

近世（江戸時代）の信濃に関する典籍等（主に俳書）が収められています。

名 称	点数	説 明
関口文庫	192	関口彦一郎（1879～1958）収集の信濃関係俳諧書資料で、小林一茶・茂呂何丸・加舎白雄・宮本天姥・倉田葛三・井上井月ら信濃の代表的俳人及び善光寺俳壇の俳書を収める。
威徳院文庫	76	林亮順（1868～1941）が収集した信濃関係俳書を収める。宮本天姥・倉田葛三・今井柳莊をはじめ、主として長野県北信地方の俳人の俳書が集められている。

(4) マイクロフィルム等の所蔵状況

新聞・郷土資料などをマイクロフィルム化することにより、原資料の劣化を防ぎ、閲覧や複写サービスの向上に努めています。

（＊マイクロフィッシュは、シート状のフィルムに関係資料が撮影されたものです。）

(令和7年3月31日現在)

		資 料 名	所 蔵 内 容	フィルム数
マ イ ク ロ フ ィ ル ム	新 聞	信濃毎日新聞	明治6年7月 ～ 平成25年12月	1,535
		" (欠号集)	明治8年5月 ～ 昭和27年12月	15
		朝日新聞	明治21年7月 ～ 平成25年12月	2,128
		" (長野県版)	昭和28年1月 ～ 平成25年12月	106
		毎日新聞	明治5年2月 ～ 平成25年12月	2,159
		" (長野県版)	昭和2年1月 ～ 平成25年12月	135
		読売新聞	明治7年1月 ～ 平成25年12月	1,830
		" (長野県版)	昭和8年5月 ～ 平成25年12月	151
		" (欠号集)	明治7年12月 ～ 昭和20年12月	38
		長野新聞	明治32年4月 ～ 大正9年12月	45
		小 計		8,142
	郷 土	信濃教育	第1号（明治19年10月）～ 第780号（昭和26年12月）	33
		長野県統計書	明治6年 ～ 昭和12年	22
		府県資料長野県		3
		東大明治新聞雑誌文庫所蔵 長野県関係（明治大正）マイクロ版		31
		石坂家文庫		14
		内閣文庫所蔵筆記		1
		国文学資料館蔵関口文庫		8
		国文学資料館蔵威徳院文庫		2
		丸山文庫		59
		飯島文庫		19
		農商務省小作慣行調査報告	<中部編1> 長野県	14
		日本林制史調査資料	中部 松代藩 1 ～ 5	5
		花月文庫		287
		明治年間府県統計書集成	明治8年 ～ 明治45年	10
		大正・昭和年間府県統計書集成	大正2年 ～ 昭和13年	12
		小 計		520
	そ 他	太政官日記	慶応4年 ～ 明治9年	11
		官報	明治16年7月 ～ 平成25年12月	1,600
		信濃教育会図書館時代 特殊収集近世資料	国文学資料館所蔵分	10
		小 計		1,621
	合 計			10,283
フィッシュ	郷 土	プランゲ文庫雑誌コレクション 長野県関係	昭和20年 ～ 昭和24年 275タイトル	1,011

(5) 16ミリ映画フィルム等の所蔵状況

(単位:本)

項目	所蔵状況
16ミリ映画フィルム	2,260
ビデオテープ	3,035
DVD	179

※団体を対象に貸出（個人貸出不可）

IV 県立長野図書館協議会

1 概 要

県立長野図書館協議会は、図書館法第 14 条及び県立長野図書館条例第 3 条の規定により設置され、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる。

2 令和 6 年度開催状況

○令和 6 年 9 月 25 日（水）

会議事項 これからの公共図書館を担う司書教育のトレンドについて
 県立図書館の役割、市町村図書館の役割を踏まえて
 長野県図書館協会に対する県立長野図書館の役割として期待することについて

○令和 7 年 3 月 18 日（火）

会議事項 令和 6 年度主要事業及び主な利用実績について
 令和 7 年度主要事業及び当初予算（案）について
 県立長野図書館業務システムの更新について
 今後の蔵書構築の考え方について
 デジとしよ信州の活用について
 「第 5 次長野県子ども読書活動推進計画（案）」の策定状況
 若里プロジェクトについて

3 委員名簿（令和 7 年 3 月 31 日現在）

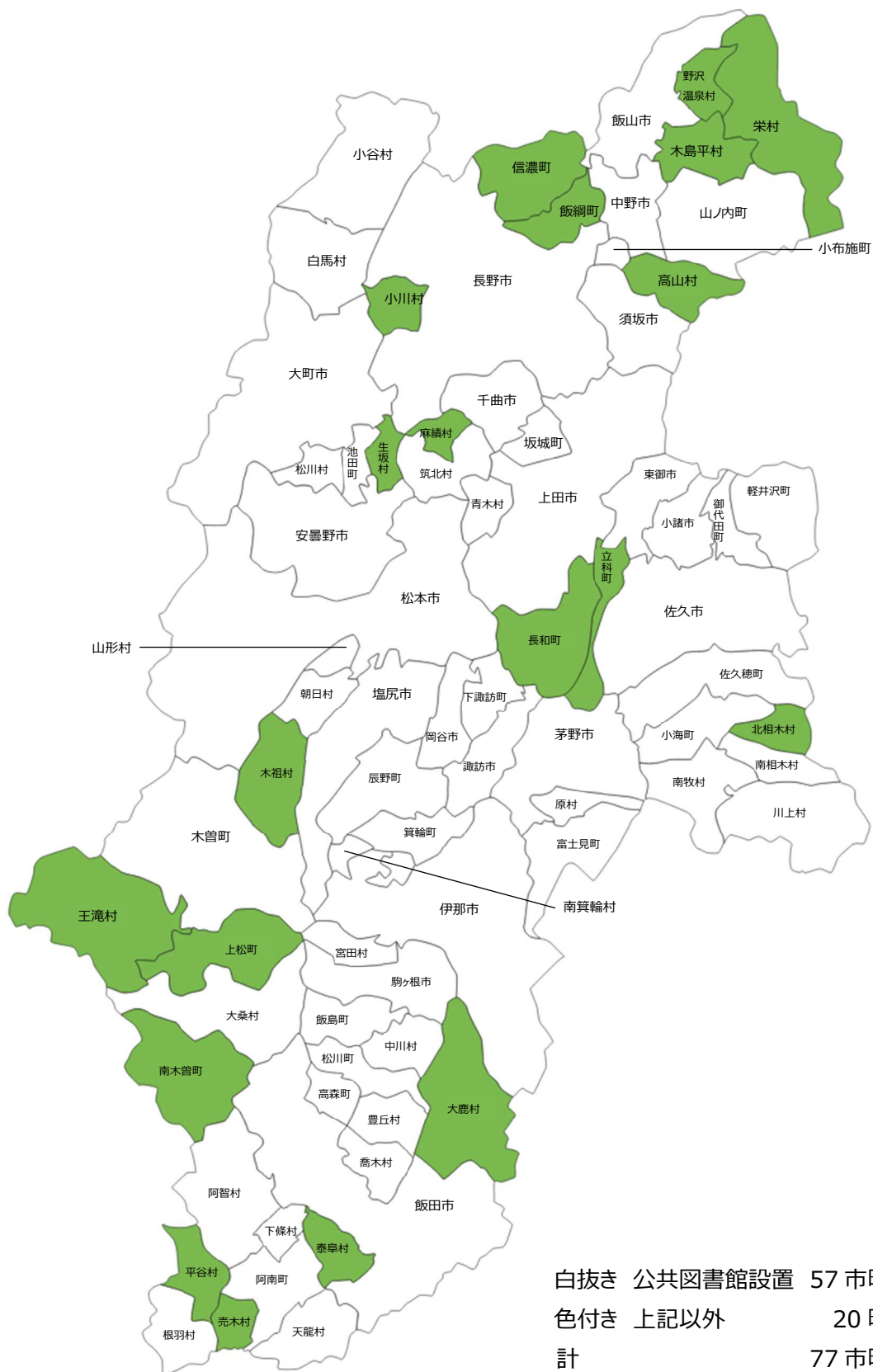
（敬称略、五十音順）

職	氏 名	所 属 ・ 職 名 等
会長	渡 邊 匡 一	信州大学人文学部 教授
委員	大 林 晃 美	NPO 法人本途人舎 代表理事
	春 日 由紀夫	駒ヶ根市立東伊那公民館 館長
	瀧 本 明 子	飯田市立中央図書館 館長
	田 川 圭 子	ライター、ナレーター
	田 中 一 樹	NPO 法人 職員
	中 村 仁 志	中野市立平野小学校 教諭
	西 山 卓 郎	株式会社バリューブックス 社員
	庭 井 史 絵	青山学院大学教育人間科学部准教授
	松 山 佳奈子	ゆめサボママ@ながのメンバー

（任期 令和 7 年 1 月 1 日から令和 8 年 12 月 31 日まで）

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況



2 県立長野図書館の沿革

和暦	西暦	月	
明治40	1907	6	信濃教育会により信濃図書館が設置される
大正13	1924	12	信濃教育会による明治44年以來の県立図書館設置運動が実り、臨時県議会において昭和天皇御成婚記念事業として県立図書館設置が可決
昭和 4	1929	9	長野市長門町に県立長野図書館開館（工費24万円、3階建、延べ床面積2,397.78㎡） 信濃図書館の蔵書のほとんどが寄贈される 開館当初から個人貸出を行う
昭和 7	1932		「団体携出」の名称で、官公署・学校等へ団体貸出を開始（昭和26年発展的解消）
昭和 8	1933	10	改正図書館令により、長野県の中央図書館に指定される
昭和 9	1934	6	「県立長野図書館報」創刊（昭和19年に数回の改題を経て終刊）
昭和11	1936		県下青年を対象とした貸出文庫を設け、県内へ発送を始める
昭和14	1939	12	『県立長野図書館10年史』刊行
昭和18	1943	11	帝国図書館の蔵書疎開が行われ、約133,400冊もの貴重な資料が翌年まで当館に保管される（昭和21年3月返戻）
昭和20	1945	3	書庫・事務室・館長室以外を長野高等女学校の学校工場（陸軍被服廠縫製工場）に使用するため、館内閲覧中止（翌昭和21年4月再開）
昭和24	1949	11	「第1回長野県図書館普及運動」を開催
昭和25	1950	12	「県立長野図書館条例」公布施行 「PTA母親文庫」を創設
昭和26	1951	3	図書館協議会が発足 「第1回長野県図書館大会」開催（上田市）
昭和34	1959	9 11	「本を読む母親の全国大会」開催（長野市） 創立30周年、『県立長野図書館三十年史』刊行
昭和36	1961	10	2課制から4課制になり、調査相談課が設置される
昭和37	1962	3	新書庫が建設され、収容冊数が7万冊から約15万冊へ増加する
昭和39	1964	9	小冊子『調査相談の事例』刊行、配布
昭和42	1967	9	複写サービスを開始 マイクロフィルムを導入
昭和44	1969	10	「全国図書館大会」開催
昭和52	1977	10	『長野県郷土資料総合目録』を刊行
昭和54	1979	8	創立50周年、長野市若里へ新館を建設し移転 工費16億7千万円、地下1階地上3階建、延べ床面積8,614㎡ 旧館の魯桃桜9本も移植される
昭和56	1981	2	『県立長野図書館五十年史』刊行
平成 3	1991		館内改修工事を行い、郷土資料室を解体し閲覧室に資料を移動、空いた元郷土資料室は貸出室・親子読書室へ変更
平成 5	1993	3	電算システム導入（受入、貸出、検索、資料情報管理等）
平成 6	1994		古文書約15,000点を長野県立歴史館へ移管
平成12	2000		「第30回児童に対する図書館奉仕全国研究集会」開催
平成13	2001		コイン式コピー機を導入
平成14	2002	2	当館ホームページ開設、WebOPAC（インターネット上の蔵書検索）稼働
平成15	2003	2	「PTA母親文庫」を改めた「長野県PTA親子読書推進の会」発足（平成26年3月31日解散）
平成16	2004	2 5 〃 7	外国籍住民のための外国語資料（ブラジル・中国・韓国・フィリピン・タイ）の受入・貸出を開始 組織改正が行われ、4課制（総務課・整理課・調査閲覧課・貸出視聴覚課）から3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）となる 移動絵本図書館車「おはなしばけっと号」を導入（平成21年事業終了） 貸出対象図書を27万冊から47万冊へ拡大し、児童図書室、一般図書室を設置

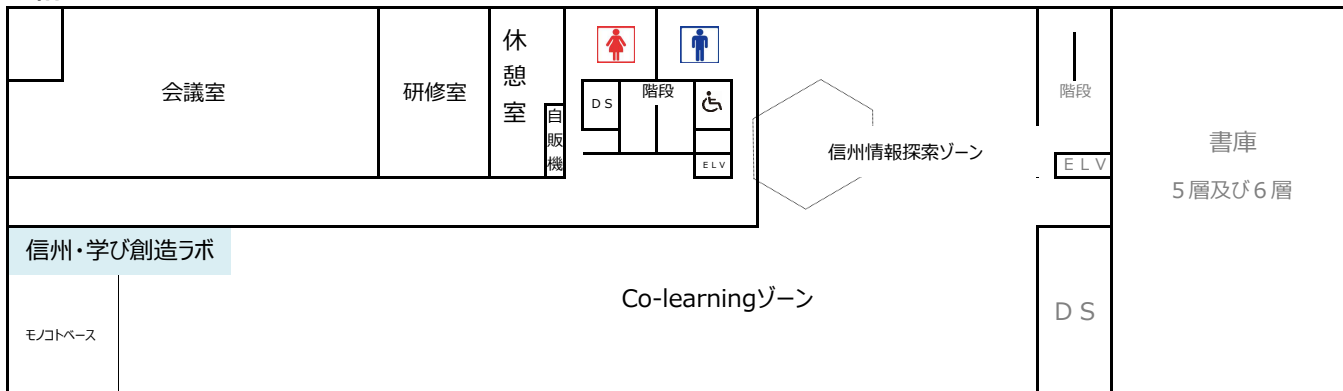
和暦	西暦	月	
平成17	2005	4	国立国会図書館「レファレンス協同データベース事業」へ本格参加
平成18	2006	2	『県立長野図書館メールマガジン』創刊（平成28年1月配信停止）
		6	「信濃毎日新聞アーカイブス」（現「信濃毎日新聞データベース」）導入
平成19	2007	12	「官報情報検索サービス」導入
平成21	2009	3	インターネット予約貸出サービス開始
			長野県内公共図書館横断検索システム導入
		9	耐震診断実施
平成22	2010	4	「コーラル文庫」開設（平成29年児童室改修に伴い分散配架）、「信州デジくら」（R2.4.1～デジタルコモンズへ移行）運用開始
平成23	2011	4	祝日開館を試行実施
			「第一法規判例体系データベース」（現「法情報総合データベース」）導入
		12	館内の冷暖房設備を全面改修
平成24	2012	4	祝日開館を実施
		6	「関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会」開催
平成26	2014	1	「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」導入
平成27	2015	2	耐震工事（7月まで）
		4	図書館改革のため、館長を任期付職員で登用
平成28	2016	6	新聞雑誌スペースを研修・ワークショップスペースに改修
			「聞蔵II(朝日クロスサーチ)」「日経テレコン21」導入
平成29	2017	6	「ルーラル電子図書館」、「magazineplus」(令和4年3月末契約終了)、「ジャパンナレッジ」、「毎索」、「J-DreamⅢ」、「ヨミダス歴史館」、「ポプラディアネット」（令和4年3月末サービス終了）、
			「市場情報評価ナビMieNa」導入（令和6年3月末契約終了）
		8	外壁改修工事（12月まで）
		10	「ネーミング・ライツ・パートナー(株式会社内田洋行)」の導入及び「知識情報ラボUCDL(ウチデル)」のオープン（令和2年9月終了）
平成30	2018	3	床・階段改修、児童図書室改修（リニューアル）
		4	「中日新聞・東京新聞記事データベース」導入
平成31	2019	3	児童図書室に体験・発見コーナー設置（子どもの未来支援基金活用）、一般図書室書架・空間等の大規模リニューアル
		4	「信州・学び創造ラボ」の開設、児童図書室にて体験遊具(ストライダー等)の貸出開始
令和元	〃	11	「Library of the Year 2019」優秀賞受賞
令和2	2020	4	信州・知のポータル「信州ナレッジ・スクエア」を開設
		5	全国知事会先進政策バンクにおいて「信州・学び創造ラボ」整備事業が優秀政策に選定
令和3	2021	4	3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）から2課4係制（総務企画課・資料情報課）へ組織変更、副館長配置
		〃	閉架書庫棟6階整備工事竣工
令和4	2022	8	県内77市町村と協働して電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を開始
			紀伊國屋書店の「KinoDen」を使用して「県立長野図書館電子書籍サービス」を開始
		〃	「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を「信州デジタルコモンズ」が受賞
令和5	2023	4	館長出演 FMぜんこうじ「図書ナビゲーション」（「ひるどき もんぷらワイド！」内）開始（毎月第2火曜日）
		11	全国知事会先進政策バンク令和5年度「先進政策大賞」および「デジタルソリューションアワード大賞」に「市町村と県による協働電子図書館事業“デジとしよ信州”」が選定
		〃	「デジとしよ信州」が第11回プラチナ大賞優秀賞地域パートナーシップ賞受賞
		12	全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)開催
令和6	2024	3	書庫棟昇降機改修工事（令和5年7月～令和6年3月）
		4	関東地区公共図書館協議会（1都10県で構成）事務局を担当（～令和8年3月までの2年度）
令和7	2025	2	県産材を使った木質化工事着工

参考資料：『県立長野図書館三十年史』『県立長野図書館五十年史』『県立長野図書館概要 昭和62年度～令和5年度』

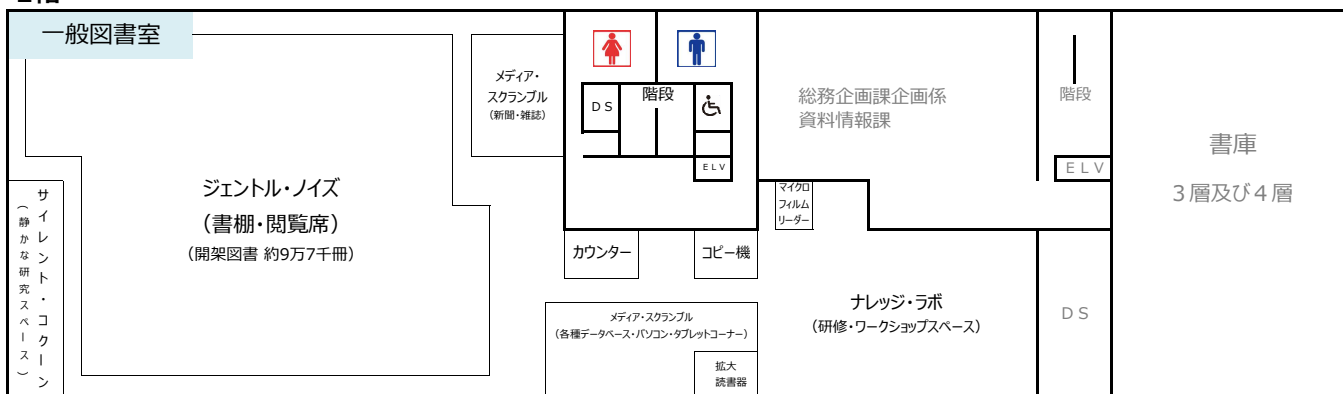
3 施設概要

所在地	長野市若里1丁目1番4号
開 所	昭和54年（1979年）8月(移転新築) ※昭和4年（1929年）8月設置
敷 地	6,152㎡(建物区画4,243㎡ 利用者駐車場1,909㎡（80台（うち障がい者等用3台））
建 物	R C(地上3階地下1階) 8,681㎡（本館8,614㎡、公用車庫67㎡）

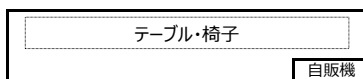
3 階



2 階



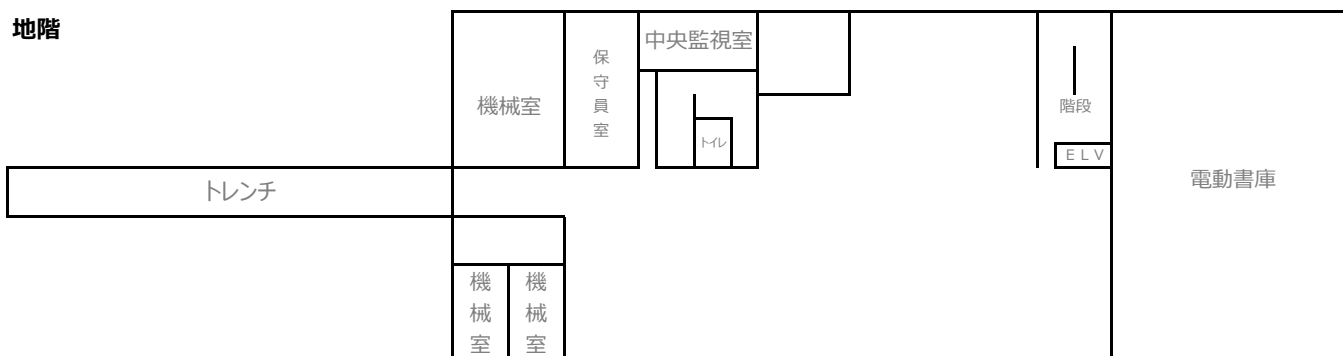
中2階休憩室



1 階



地階



4 利用案内

(1) 開館時間

階	施設名	土・日・祝日	火～金曜日
1 階	児童図書室	9:00～17:00	
2 階	一般図書室	9:00～17:00	9:00～19:00
3 階	信州・学び創造ラボ	9:00～17:00	9:00～19:00
	会議室（供用）	9:00～17:00	9:00～19:00

(2) 休館日

- ・定例 毎週月曜日（祝日（振替休日）と重なる場合も休館）
- ・蔵書整理日 毎月最終金曜日（祝日の場合は前日の木曜日）
- ・蔵書点検期間 10 月 13 日～10 月 31 日
- ・年末年始 12 月 27 日～翌年 1 月 4 日



©長野県アルクマ

《お問い合わせ等》

〒380-0928 長野市若里 1-1-4

URL : <https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

E-mail : ken-tosho@library.pref.nagano.jp

- 資料情報課 利用登録、資料の利用関係（貸出延長、ネット貸出、複写等）
相互貸借、レファレンス、寄贈受付、県立長野図書館電子書籍サ
ービス、インターンシップ、「信州ナレッジスクエア」ほか
TEL : (026)228-4921 FAX : (026)291-6252

- 総務企画課 総務係 総合案内、予算、庶務、施設管理ほか
TEL : (026)228-4500 FAX : (026)228-4933

- 企画係 図書館連携、研修事業、信州・学び創造ラボ、デジとしょ信州ほか
TEL : (026)228-4939 FAX : (026)291-6252

案内図

